

平成 2 7 事業年度

事業報告書

日本中央競馬会

I 業務の実施状況

1. 平成 27 年度の業務の実施状況

(1) 競馬の実施等

① 競馬の開催状況

・開催回数 36 回 ・開催日数 288 日

(内訳)

競馬場	開催回数	開催日数	競馬場	開催回数	開催日数
札幌競馬場	2 回	12 日	東京競馬場	5 回	46 日
函館競馬場	2 回	12 日	中京競馬場	4 回	24 日
福島競馬場	3 回	20 日	京都競馬場	5 回	47 日
新潟競馬場	3 回	24 日	阪神競馬場	5 回	41 日
中山競馬場	5 回	42 日	小倉競馬場	2 回	20 日

② 発売金及び開催競馬場入場人員

発 売 金	2 兆 5,886 億 9,186 万 2,100 円
入場人員	631 万 7,073 名

③ 国庫納付金

第 1 国庫納付金	2,583 億 3,918 万 6,980 円
第 2 国庫納付金	242 億 2,843 万 1,130 円

④ 競馬の開催に関する主な業績項目の数値

項 目		数 式	当該年度数値
競馬開催計画 達成率	開催回数	開催実施回数／開催計画回数	100%
	開催日数	開催実施日数／開催計画日数	100%
職員一人当り の効率	対売上収入	売得金額／職員数	1,473,697 千円
	対入場人員	入場人員数／職員数	3,603 人
対売上収益率		剰余金／売得金額	1.87%

(2) 馬主、馬（競走馬）及び服色の登録

〔J R A所属〕				〔その他〕※ i ii	
登録の種類	登録の数	取消の数	本年度末数	国際関係	地方関係
馬主の登録	158 名	133 名	2,360 名	5(3) 名	39 名
競走馬登録	5,081 頭	5,057 頭	7,789 頭	7(7) 頭	103 頭
服色の登録	132 件	138 件	1,904 件	5(3) 件	—

※ i 「国際関係」：国際交流競走に係わる登録の数（カッコ内は取消の数）

ii 「地方関係」：地方競馬との指定交流競走に係わる登録の数（取消の数は登録と同数）

(3) 調教師及び騎手の免許

〔J R A所属〕※ i ii				〔その他〕※ iii iv v		
免許の種類	免許の数	取消の数	本年度末数	短期	国際関係	地方関係
調教師の免許	200 名	1 名	199 名	—	7 名	87 名
騎手の免許	130 名	2 名	128 名	14 名	9 名	91 名

※ i 「免許の数」：3月1日付免許者数

ii 「取消の数」：免許期間を満了せずに年度途中で取り消した者の数

iii 「短期」：臨時試験による短期騎手免許者数（延人数）

iv 「国際関係」：国際交流競走・国際騎手招待競走に係わる免許者数（延人数）

v 「地方関係」：地方競馬との指定交流競走に係わる免許者数（延人数）

(4) 競走馬の育成

日高育成牧場及び宮崎育成牧場において、市場購買馬（平成 26 年購買の 2 歳馬 74 頭のうち 72 頭及び平成 27 年購買の 1 歳馬 74 頭）の育成を行いました。

また、日高育成牧場において、J R A 生産馬（当歳馬 8 頭、1 歳馬 7 頭及び 2 歳馬 7 頭）の育成を行いました。

(5) 騎手の養成・訓練

競馬学校において騎手の養成を行い、4 名が卒業しました。平成 27 事業年度末現在の在校者数は 18 名となっています。

(6) 日本中央競馬会法第 19 条第 2 項第 4 号に掲げる業務

上記（1）～（5）の業務のほか、競馬の健全な発展を図るため必要な業務を行いました。そのうち、特別振興資金を使用して、競馬振興事業を実施しました。

合計金額 4,894,213,773 円

(7) 畜産振興事業

特別振興資金を使用して、畜産振興事業を実施しました。

合計金額 2,921,391,621 円

(8) 払戻金への上乗せ

特別振興資金を使用して、1号給付金及び2号給付金を払戻金に上乗せしました。

1号給付金 2,334,714,270 円

2号給付金 1,857,050,920 円

合計金額 4,191,765,190 円

(9) 競走馬生産振興業務への交付

地方競馬全国協会が行う「競走馬生産振興業務」に対して、特別振興資金を使用して、交付金を交付しました。

合計金額 1,350,000,000 円

(10) 認定競馬活性化計画補助業務への交付

地方競馬全国協会が行う「認定競馬活性化計画補助業務」に対して、特別振興資金を使用して、交付金を交付しました。

合計金額 1,029,292,700 円

(11) 借入金、財政投融资資金及び国庫補助金等による資金調達の状況

該当ありません。

2. 前年度までにおける業務の実施状況

(1) 競馬の実施等

① 競馬の開催状況

事業年度	平成 24 年		平成 25 年		平成 26 年	
	開催回数	開催日数	開催回数	開催日数	開催回数	開催日数
札幌競馬場	2 回	14 日	—	—	2 回	14 日
函館競馬場	2 回	12 日	4 回	24 日	2 回	12 日
福島競馬場	3 回	22 日	3 回	22 日	4 回	24 日
新潟競馬場	4 回	28 日	3 回	24 日	3 回	28 日
中山競馬場	5 回	41 日	5 回	41 日	4 回	33 日
東京競馬場	5 回	41 日	5 回	45 日	5 回	46 日
中京競馬場	3 回	22 日	4 回	26 日	4 回	24 日
京都競馬場	5 回	44 日	5 回	44 日	5 回	47 日
阪神競馬場	5 回	42 日	5 回	42 日	5 回	40 日
小倉競馬場	2 回	22 日	2 回	20 日	2 回	20 日
合 計	36 回	288 日	36 回	288 日	36 回	288 日

② 発売金及び開催競馬場入場人員

事業年度	発 売 金	入場人員
平成 24 年	2,400,039,939,200 円	6,190,296 名
平成 25 年	2,411,831,610,500 円	6,092,403 名
平成 26 年	2,499,611,579,700 円	6,142,471 名

③ 国庫納付金

事業年度	第 1 国庫納付金	第 2 国庫納付金
平成 24 年	239,430,885,670 円	8,469,398,789 円
平成 25 年	240,493,351,320 円	14,845,219,059 円
平成 26 年	249,362,772,940 円	19,833,650,359 円

④ 競馬の開催に関する主な業績項目の数値

項 目		平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年
競馬開催計画 達成率	開催回数	100%	100%	100%
	開催日数	100%	100%	100%
職員一人当り の効率	対売上収入	1, 320, 634 千円	1, 341, 290 千円	1, 406, 445 千円
	対入場人員	3, 414 人	3, 398 人	3, 464 人
対売上収益率		0. 70%	1. 23%	1. 59%

(2) 馬主、馬（競走馬）及び服色の登録

① 馬主の登録

〔 J R A 所属 〕				〔その他〕 ※ i ii	
事業年度	登録の数	取消の数	当該年度末数	国際関係	地方関係
平成 24 年	77 名	109 名	2, 256 名	8(10) 名	97 名
平成 25 年	177 名	137 名	2, 296 名	6(8) 名	34 名
平成 26 年	160 名	121 名	2, 335 名	3(3) 名	35 名

② 競走馬登録

〔 J R A 所属 〕				〔その他〕 ※ i ii	
事業年度	登録の数	取消の数	当該年度末数	国際関係	地方関係
平成 24 年	5, 273 頭	5, 281 頭	7, 925 頭	10(10) 頭	124 頭
平成 25 年	5, 113 頭	5, 169 頭	7, 869 頭	9(9) 頭	65 頭
平成 26 年	4, 896 頭	5, 000 頭	7, 765 頭	6(6) 頭	77 頭

③ 服色の登録

〔 J R A 所属 〕				〔その他〕 ※ i	
事業年度	登録の数	取消の数	当該年度末数	国際関係	
平成 24 年	96 件	117 件	1, 931 件	8(10) 件	
平成 25 年	114 件	135 件	1, 910 件	6(8) 件	
平成 26 年	117 件	117 件	1, 910 件	3(3) 件	

- ※ i 「国際関係」：国際交流競走に係わる登録の数（カッコ内は取消の数）
ii 「地方関係」：地方競馬との指定交流競走に係わる登録の数（取消の数は登録と同数）

(3) 調教師及び騎手の免許

① 調教師の免許

〔J R A所属〕※ i ii			〔その他〕※ iv v		
事業年度	免許の数	取消の数	当該年度末数	国際関係	地方関係
平成 24 年	213 名	3 名	210 名	10 名	110 名
平成 25 年	212 名	3 名	209 名	8 名	58 名
平成 26 年	203 名	1 名	202 名	6 名	69 名

② 騎手の免許

〔J R A所属〕※ i ii			〔その他〕※ iii iv v			
事業年度	免許の数	取消の数	当該年度末数	短期	国際関係	地方関係
平成 24 年	139 名	16 名	123 名	17 名	14 名	105 名
平成 25 年	126 名	2 名	124 名	20 名	14 名	49 名
平成 26 年	130 名	3 名	127 名	25 名	13 名	68 名

- ※ i 「免許の数」 : 3月1日付免許者数
 ii 「取消の数」 : 免許期間を満了せずに年度途中で取り消した者の数
 iii 「短期」 : 臨時試験による短期騎手免許者数（延人数）
 iv 「国際関係」 : 国際交流競走・国際騎手招待競走に係わる免許者数（延人数）
 v 「地方関係」 : 地方競馬との指定交流競走に係わる免許者数（延人数）

(4) 競走馬の育成

事業年度	育成頭数	(内訳)	当歳馬	1 歳馬	2 歳馬
平成 24 年	175 (22) 頭		8 (8) 頭	82 (8) 頭	85 (6) 頭
平成 25 年	171 (23) 頭		7 (7) 頭	82 (8) 頭	82 (8) 頭
平成 26 年	169 (22) 頭		8 (8) 頭	81 (7) 頭	80 (7) 頭

※ ()内は育成した J R A 生産馬の頭数 (内数)

(5) 騎手の養成・訓練

事業年度	競馬学校卒業者数	当該年度末在校生数
平成 24 年	5 名	17 名
平成 25 年	4 名	19 名
平成 26 年	6 名	18 名

(6) 日本中央競馬会法第19条第2項第4号に掲げる業務

- ① 平成24年、平成25年及び平成26年の各事業年度において、上記(1)～(5)の業務のほか、競馬の健全な発展を図るため必要な業務を実施しました。

② 競馬振興事業

事業年度	金 額
平成24年	3,035,080,152 円
平成25年	2,829,231,919 円
平成26年	2,070,294,352 円

(7) 畜産振興事業

事業年度	金 額
平成24年	1,725,730,474 円
平成25年	1,481,095,047 円
平成26年	1,517,102,999 円

(8) 払戻金への上乗せ

事業年度	金 額
平成24年	2,875,199,950 円
平成25年	4,113,049,170 円
平成26年	4,373,451,550 円

(内訳)

1号給付金	2号給付金
1,131,065,260 円	1,744,134,690 円
2,240,716,360 円	1,872,332,810 円
2,016,348,810 円	2,357,102,740 円

(9) 競走馬生産振興業務への交付

事業年度	金 額
平成24年	500,000,000 円
平成25年	1,250,000,000 円
平成26年	1,050,000,000 円

(10) 認定競馬活性化計画補助業務への交付

事業年度	金 額
平成 24 年	2,493,836,500 円
平成 25 年	865,975,000 円
平成 26 年	999,289,190 円

(11) 借入金、財政投融资資金及び国庫補助金等による資金調達の状況

平成 24 年、平成 25 年及び平成 26 年の各事業年度について、該当ありません。

Ⅱ 日本中央競馬会の概要

1. 業務の内容

日本中央競馬会は、競馬の健全な発展を図って馬の改良増殖その他畜産の振興に寄与することを目的とし、その目的を達成するため次の業務を行うことが法定されています。

(1) 業務内容

- ① 中央競馬の実施
- ② 馬主、馬（競走馬）及び服色の登録
- ③ 調教師及び騎手の免許
- ④ 競走馬の育成
- ⑤ 騎手の養成・訓練
- ⑥ 競馬法第 21 条に基づき委託を受ける競馬の実施に関する事務
- ⑦ その他競馬の健全な発展を図るため必要な業務
- ⑧ 畜産振興事業等について助成することを業務とする法人に対し、当該助成に必要な資金の全部又は一部を交付する業務
- ⑨ 競馬法附則第 5 条第 1 項第 1 号及び第 2 号に規定する当該勝馬投票の的中者に対し、給付金を交付する業務
- ⑩ 地方競馬全国協会が行う競走馬生産振興業務に対し、交付金を交付する業務（平成 29 事業年度までの間）
- ⑪ 地方競馬全国協会が行う認定競馬活性化計画補助業務に対し、交付金を交付する業務（平成 29 事業年度までの間）

(2) 根拠規定

日本中央競馬会法（昭和 29 年 7 月 1 日法律第 205 号）第 19 条
競馬法（昭和 24 年 6 月 27 日法律第 37 号）附則第 5 条及び第 8 条

2. 各事務所の所在地

名 称	郵便番号	住 所	電話番号
本 部	106-8401	港区六本木 6 丁目 11 番 1 号	03-3591-5251
馬 事 公 苑	158-8523	世田谷区上用賀 2 丁目 1 番 1 号	03-3429-5101
競 馬 学 校	270-1431	白井市根 835 の 1 番地	047-491-0333
競走馬総合研究所	320-0856	宇都宮市砥上町 321 番 4 号	028-647-0650
日 高 育 成 牧 場	057-0171	北海道浦河郡浦河町字西舎 535 番地の 13	0146-28-1211
宮 崎 育 成 牧 場	880-0036	宮崎市花ヶ島町大原 2347 番地	0985-25-3448
栗東トレーニング ・センター	520-3085	栗東市御園 1028 番地	077-558-0101
美浦トレーニング ・センター	300-0493	茨城県稲敷郡美浦村大字美駒 2500 番地 の 2	029-885-2111
札 幌 競 馬 場	060-0016	札幌市中央区北 16 条西 16 丁目 1 番 1 号	011-726-0461
函 館 競 馬 場	042-8585	函館市駒場町 12 番 2 号	0138-53-1021
福 島 競 馬 場	960-8114	福島市松浪町 9 番 23 号	024-534-2121
新 潟 競 馬 場	950-3301	新潟市北区笹山 3490 番地	025-259-3141
中 山 競 馬 場	273-0037	船橋市古作 1 丁目 1 番 1 号	047-334-2222
東 京 競 馬 場	183-0024	府中市日吉町 1 番地の 1	042-363-3141
中 京 競 馬 場	470-1132	豊明市間米町敷田 1225 番地	052-623-2001
京 都 競 馬 場	612-8265	京都市伏見区葭島渡場島町 32 番地	075-631-3131
阪 神 競 馬 場	665-0053	宝塚市駒の町 1 番 1 号	0798-51-7151
小 倉 競 馬 場	802-0841	北九州市小倉南区北方 4 丁目 5 番 1 号	093-962-3236

3. 資本金の総額及び政府の出資額並びにこれらの増減

資本金の総額	政府の出資額	前期末比増減
4,924,129,000 円	全額政府出資	0

4. 役員の定数並びに各役員の氏名、役職、任期及び経歴等（平成 27 年度末現在）

（１）役員の定数

理事長 1 人、副理事長 1 人、理事 10 人以内及び監事 3 人以内

（２）各役員の氏名、役職、任期、経歴

役 職	氏 名	任 期	経 歴
理 事 長	後藤 正幸	平成 26 年 9 月 12 日～29 年 9 月 11 日	日本中央競馬会常務理事
副理事長	井出 道雄	平成 26 年 3 月 1 日～29 年 2 月 28 日	農林水産事務次官
常務理事	小林善一郎	平成 27 年 3 月 1 日～29 年 2 月 28 日	日本中央競馬会理事
常務理事	内藤 邦男	平成 27 年 3 月 1 日～29 年 2 月 28 日	林野庁長官
理 事	横山 清弘	平成 27 年 3 月 1 日～29 年 2 月 28 日	日本中央競馬会 総合企画部長
理 事	木所 康夫	平成 27 年 3 月 1 日～29 年 2 月 28 日	日本中央競馬会競走部長
理 事	井上 真	平成 27 年 3 月 1 日～29 年 2 月 28 日	日本中央競馬会 栗東トレーニングセンター場長
理 事	福井 紳弥	平成 27 年 3 月 1 日～29 年 2 月 28 日	日本中央競馬会 美浦トレーニングセンター場長
理 事	峯島 善弘	平成 27 年 3 月 1 日～29 年 2 月 28 日	日本中央競馬会 ウインズ事業運営部長
理 事	中村 嘉宏	平成 27 年 3 月 1 日～29 年 2 月 28 日	日本中央競馬会審判部長
監 事	安齊 了	平成 27 年 10 月 1 日～29 年 9 月 30 日	日本中央競馬会馬事部長
監 事 (非常勤)	矢島 匡	平成 26 年 9 月 16 日～28 年 9 月 15 日	弁護士
監 事 (非常勤)	小谷実可子	平成 26 年 9 月 16 日～28 年 9 月 15 日	NPO 法人 日本オリンピックズ協会理事

（３）役員の異動

- ① 2 月 28 日付けで鈴木良治理事が退任し、翌 3 月 1 日付けで中村嘉宏前審判部長が理事に任命されました。
- ② 3 月 1 日付けで小林善一郎常務理事、内藤邦男常務理事、横山清弘理事、木所康夫理事、井上真理事、福井紳弥理事、峯島善弘理事が再任されました。
- ③ 9 月 30 日付けで小西敏之監事が退任し、翌 10 月 1 日付けで安齊了前馬事部長が監事に任命されました。

5. 職員の定数及びその増減（平成 27 年度末現在）

職員の定数	前期末比増減
1, 7 5 3 人	－ 2 0 人

6. 日本中央競馬会の沿革

昭和 2 9 年	○ 日本中央競馬会の設立（9 月 16 日） 昭和 23 年に当時の「日本競馬会」の業務を継承したいわゆる「国営競馬」を引き継いで、競馬法（昭和 23 年 7 月 13 日法律第 158 号）により競馬を行う特殊法人として、日本中央競馬会法（昭和 29 年 7 月 1 日法律第 205 号）により設立
平成 3 年	○ 競馬法及び日本中央競馬会法の一部を改正する法律の施行 ① 馬主の登録制度並びに調教師及び騎手の免許制度の改善 ② 馬主登録等がより公正に行われるための審査会の設置 ③ 日本中央競馬会の剰余金を有効に活用するための特別振興資金及び特別給付資金の新設 ④ 競馬振興事業及び畜産振興事業の新設 ⑤ 単勝式及び複勝式の勝馬投票の的中者に対し、特別給付金を交付する特別給付業務の新設
平成 1 7 年	○ 競馬法の一部を改正する法律の施行 ① 中央競馬の実施に関する事務を政令で定めるところにより都道府県等に委託することができることを新たに規定 ② 勝馬投票券の購入等の制限の対象から成年である学生生徒が除外 ③ 単勝式及び複勝式の払戻率を改正（特別給付業務は平成 16 年末までの分をもって終了） ○ 「行政改革の重要方針」の閣議決定（12 月 24 日） ① 現行の組織形態（特殊法人）を継続 ② 競馬の公正・中立性の確保上支障のない範囲において主務大臣の関与・規制の緩和 ③ 競争入札への移行の促進、子会社等の統合、外部監査の導入等を図ること
平成 1 9 年	○ 競馬法及び日本中央競馬会法の一部を改正する法律の施行 ① 経営委員会の設置 ② 農林水産大臣の関与及び規制の緩和（規約についての関与の緩和、役員の任免等に関して大臣認可を不要とすること等） ③ 1 号給付金及び 2 号給付金を交付する業務の新設
平成 2 4 年	○ 競馬法の一部を改正する法律の施行 払戻金の算出方法の見直し
平成 2 7 年	○ 競馬法及び日本中央競馬会法の一部を改正する法律の施行 海外競馬の競走についての勝馬投票の実施

7. 根拠法 日本中央競馬会法

8. 主務大臣 農林水産大臣

9. 経営委員会の概要（平成 27 年度末現在）

経営委員会は、日本中央競馬会法第 8 条の 2 の規定に基づいて設置され、農林水産大臣が任命する委員 6 人及び理事長の 7 人により構成されています。

（１）各委員の氏名、任期及び職名等

氏 名	任 期	職 名 等
青山 佳世	平成 25 年 9 月 1 日～28 年 8 月 31 日	フリーアナウンサー
上田 廣一	平成 25 年 9 月 1 日～28 年 8 月 31 日	弁護士
小林 栄三 (委員長代理)	平成 27 年 9 月 1 日～28 年 8 月 31 日	伊藤忠商事（株）取締役会長
近藤 和行	平成 25 年 9 月 1 日～28 年 8 月 31 日	（株）読売新聞東京本社編集委員
矢野 秀雄	平成 25 年 9 月 1 日～28 年 8 月 31 日	京都大学名誉教授
和田 紀夫 (委員長)	平成 25 年 9 月 1 日～28 年 8 月 31 日	日本電信電話（株）特別顧問

（２）経営委員会の開催概要

① 第 1 回経営委員会（1 月 15 日）

- ・ 平成 26 年度中央競馬の実績 等

② 第 2 回経営委員会（2 月 10 日～2 月 17 日） ※書面表決

- ・ 地方競馬施設（北海道等）における中央競馬の発売に伴う場外設備の設置について（案）の議決

③ 第 3 回経営委員会（2 月 19 日）

- ・ 役員の任命について（案）の同意
- ・ 平成 27 年度予算実施計画（案）の議決
- ・ 日本中央競馬会職員給与規程等の一部改正について（案）の議決 等

④ 第 4 回経営委員会（3 月 12 日～3 月 18 日） ※書面表決

- ・ J－P L A C E 滝川の廃止について（案）の議決

- ・ 佐世保場外勝馬投票券発売所に係る変更承認申請について（案）の議決
- ⑤ 第5回経営委員会（3月19日）
 - ・ 平成26年度決算（案）の議決
 - ・ 平成27事業年度1号給付金の交付（追加）について（案）の議決 等
- ⑥ 第6回経営委員会（3月27日～3月29日） ※書面表決
 - ・ J－P L A C E札幌駅前の廃止について（案）の議決
- ⑦ 第7回経営委員会（4月17日）
 - ・ 平成26年度経営目標の達成状況に係る自己評価について 等
- ⑧ 第8回経営委員会（5月20日）
 - ・ 平成26年度経営目標の達成状況の評価
 - ・ 「職員の給与等の支給の基準」等の一部改正について（案）の議決
 - ・ 横浜場外勝馬投票券発売所B館の廃止について（案）の議決 等
- ⑨ 第9回経営委員会（7月10日）
 - ・ 日本中央競馬会の主たる事務所の移転及び日本中央競馬会定款の一部変更について（案）の議決 等
- ⑩ 第10回経営委員会（8月17日）
 - ・ 「払戻率弾力化」後の購買動向等に関する報告 等
- ⑪ 第11回経営委員会（9月9日）
 - ・ 委員長の選任
 - ・ 委員長代理の選任 等
- ⑫ 第12回経営委員会（10月8日）
 - ・ 平成28事業年度事業計画（案）（「競馬番組の充実」のうち、「開催計画」「重賞競走の改善」に係る部分）の議決
 - ・ 場外設備の変更申請について（大井競馬場）（案）の議決
 - ・ 平成27事業年度1号給付金の交付（追加）について（案）の議決 等
- ⑬ 第13回経営委員会（11月18日）
 - ・ 日本中央競馬会法第8条の3第2項第6号に該当する経営委員会の議決事項の決定
 - ・ 平成28事業年度経営目標（案）の決定
 - ・ 平成28事業年度事業計画（案）の議決
 - ・ 平成28事業年度収支予算（案）の議決
 - ・ 競走馬総合研究所の機能集約に係る組織改正について（案）の議決

- ・ 平成 28 事業年度 1 号給付金及び 2 号給付金の交付について（案）の議決等

⑭ 第 14 回経営委員会（12 月 17 日）

- ・ 委託場外（名古屋競馬場）の設備変更について 等

（３）委員の異動

8 月 31 日付けで奥田碩委員が退任し、翌 9 月 1 日付けで小林栄三氏が新たに委員に任命されました。

10. 運営審議会の概要（平成 27 年度末現在）

日本中央競馬会法第 16 条の規定により、日本中央競馬会の業務の執行に関する重要事項を調査審議するため、理事長が農林水産大臣の認可を受けて任命する者により構成される運営審議会が設置されています。

（１）各委員の氏名、任期及び職名等

氏 名	任 期	職 名 等
大橋 茂樹	平成 27 年 9 月 16 日～29 年 9 月 15 日	元(株)テレビ東京建物 代表取締役社長
岡本 金彌	平成 27 年 9 月 16 日～29 年 9 月 15 日	元日本中央競馬会副理事長
川崎 麻児	平成 27 年 9 月 16 日～29 年 9 月 15 日	日本画家
木村 貢	平成 27 年 9 月 16 日～29 年 9 月 15 日	日高軽種馬農業協同組合 代表理事組合長
斎藤 由香	平成 27 年 9 月 16 日～29 年 9 月 15 日	エッセイスト
高岡 和弘	平成 27 年 9 月 16 日～29 年 9 月 15 日	元(株)アートよみうり代表取締役社長
武 豊	平成 27 年 9 月 16 日～29 年 9 月 15 日	日本騎手クラブ会長
二ノ宮敬宇	平成 27 年 9 月 16 日～29 年 9 月 15 日	(一社)日本調教師会会長
松本 好雄	平成 27 年 9 月 16 日～29 年 9 月 15 日	中央競馬馬主相互会会長
森 保彦	平成 27 年 9 月 16 日～29 年 9 月 15 日	日本馬主協会連合会会長

（２）運営審議会の開催概要

① 第 1 回運営審議会（3 月 11 日）

- ・ 平成 26 事業年度決算（案）について

- ・ 日本中央競馬会競馬施行規程の改正（案）について
- ② 第2回運営審議会（6月24日） ※書面表決
 - ・ 日本中央競馬会定款の一部変更（案）について
- ③ 第3回運営審議会（10月6日） ※書面表決
 - ・ 平成28事業年度事業計画（案）（「競馬番組の充実」に係る部分）について
 - ・ 競馬法及び関係法令の一部改正に伴う定款の変更及び規約等の改正（案）について
- ④ 第4回運営審議会（11月12日）
 - ・ 平成28事業年度事業計画（案）について
 - ・ 平成28事業年度収支予算（案）について
 - ・ 日本中央競馬会競馬施行規程の一部改正（案）について
 - ・ 規約等の軽微変更についての取扱い（案）

（3）委員の異動

- ① 9月15日付けで筧正三委員が退任し、翌9月16日付けで岡本金彌氏が新たに委員に任命されました。
- ② 9月16日付けで大橋茂樹委員、川崎麻児委員、木村貢委員、斎藤由香委員、高岡和弘委員、武豊委員、二ノ宮敬宇委員、松本好雄委員、森保彦委員が再任されました。

11. 公正審査会議の概要（平成27年度末現在）

日本中央競馬会法第20条の規定に基づき、馬主の登録・抹消、調教師及び騎手の免許・取消し、行政不服審査法による異議申立てに対する決定などについて意見を聴くため、理事長が学識経験者から公正審査委員を任命し、委員による公正審査会議を開催しました。

(1) 各委員の氏名、任期及び経歴

氏 名	任 期	職 名 等
石木 俊治	平成 27 年 9 月 7 日～29 年 9 月 6 日	帝京大学法学部教授
石原 葵	平成 27 年 9 月 7 日～29 年 9 月 6 日	元日本中央競馬会副理事長
頃安 健司	平成 27 年 9 月 7 日～29 年 9 月 6 日	元大阪高等検察庁検事長
酒井 啓子	平成 27 年 9 月 7 日～29 年 9 月 6 日	千葉大学法政経学部長
福沢 恵子	平成 27 年 9 月 7 日～29 年 9 月 6 日	(公財)日本女性学習財団理事
福地 献一	平成 27 年 9 月 7 日～29 年 9 月 6 日	朝日新聞社執行役員
宮本 和夫	平成 27 年 9 月 7 日～29 年 9 月 6 日	元警察大学校長

(2) 公正審査会議の開催概要

① 第1回公正審査会議 (1月16日)

- ・ 馬主登録審査について (個人馬主の馬主登録取消し猶予1件)
- ・ 馬主登録審査について (個人馬主から法人馬主への登録変更1件)
- ・ 馬主登録審査について (法人馬主から個人馬主への登録変更1件)

② 第2回公正審査会議 (2月4日)

- ・ 平成27年度調教師・騎手免許について

③ 第3回公正審査会議 (3月13日)

- ・ 馬主登録審査について (個人馬主の馬主登録取消し猶予1件)
- ・ 馬主登録審査について (法人馬主から個人馬主への登録変更1件)
- ・ 馬主登録審査基準及び同関連事項の改正について

④ 第4回公正審査会議 (4月16日)

- ・ 第1回新規馬主登録に関する審査について (31件)
- ・ 馬主登録審査について (法人馬主から個人馬主への登録変更2件)
- ・ 馬主登録審査について (個人馬主から法人馬主への登録変更2件)
- ・ 馬主登録審査について (相続馬限定2件)

⑤ 第5回公正審査会議 (5月15日)

- ・ 馬主登録審査について (個人馬主から法人馬主への登録変更1件)

⑥ 第6回公正審査会議 (6月12日)

- ・ 馬主登録審査基準の改正について
- ・ 馬主登録審査について (相続馬限定1件)

- ・ 馬主登録審査について（個人馬主から法人馬主への登録変更1件）
- ⑦ 第7回公正審査会議（7月9日）
 - ・ 第2回新規馬主登録に関する審査について（44件）
 - ・ 馬主登録審査について（個人馬主から法人馬主への登録変更1件）
 - ・ 馬主登録審査について（法人馬主の代表者変更1件）
 - ・ 馬主登録審査について（組合馬主の組合員変更1件）
- ⑧ 第8回公正審査会議（9月18日）
 - ・ 馬主登録審査について（個人馬主から法人馬主への登録変更3件）
 - ・ 馬主登録審査について（組合馬主の組合員追加3件）
- ⑨ 中山競馬場開催業務視察（9月27日）
- ⑩ 第9回公正審査会議（10月16日）
 - ・ 馬主登録審査について（個人馬主から法人馬主への登録変更3件）
 - ・ 馬主登録取消ガイドラインの改正について
- ⑪ 第10回公正審査会議（11月13日）
 - ・ 第3回新規馬主登録に関する審査について（55件）
 - ・ 馬主登録審査について（相続馬限定2件）
 - ・ 馬主登録審査について（個人馬主から法人馬主への登録変更2件）
- ⑫ 第11回公正審査会議（12月9日）
 - ・ 平成28年度新規調教師免許について
 - ・ 馬主登録審査について（相続馬限定2件）
 - ・ 馬主登録審査について（法人馬主の限定的代表者変更1件）
 - ・ 馬主登録審査について（個人馬主から法人馬主への登録変更3件）

（３）委員の異動

- ① 4月30日付けで林則清委員が退任されました。
- ② 9月6日付けで岡本金彌委員、那部吉正委員が退任し、翌9月7日付けで石原葵氏、福地献一氏、宮本和夫氏が新たに委員に任命されました。
- ③ 9月7日付けで石木俊治委員、頃安健司委員、酒井啓子委員、福沢恵子委員が再任されました。

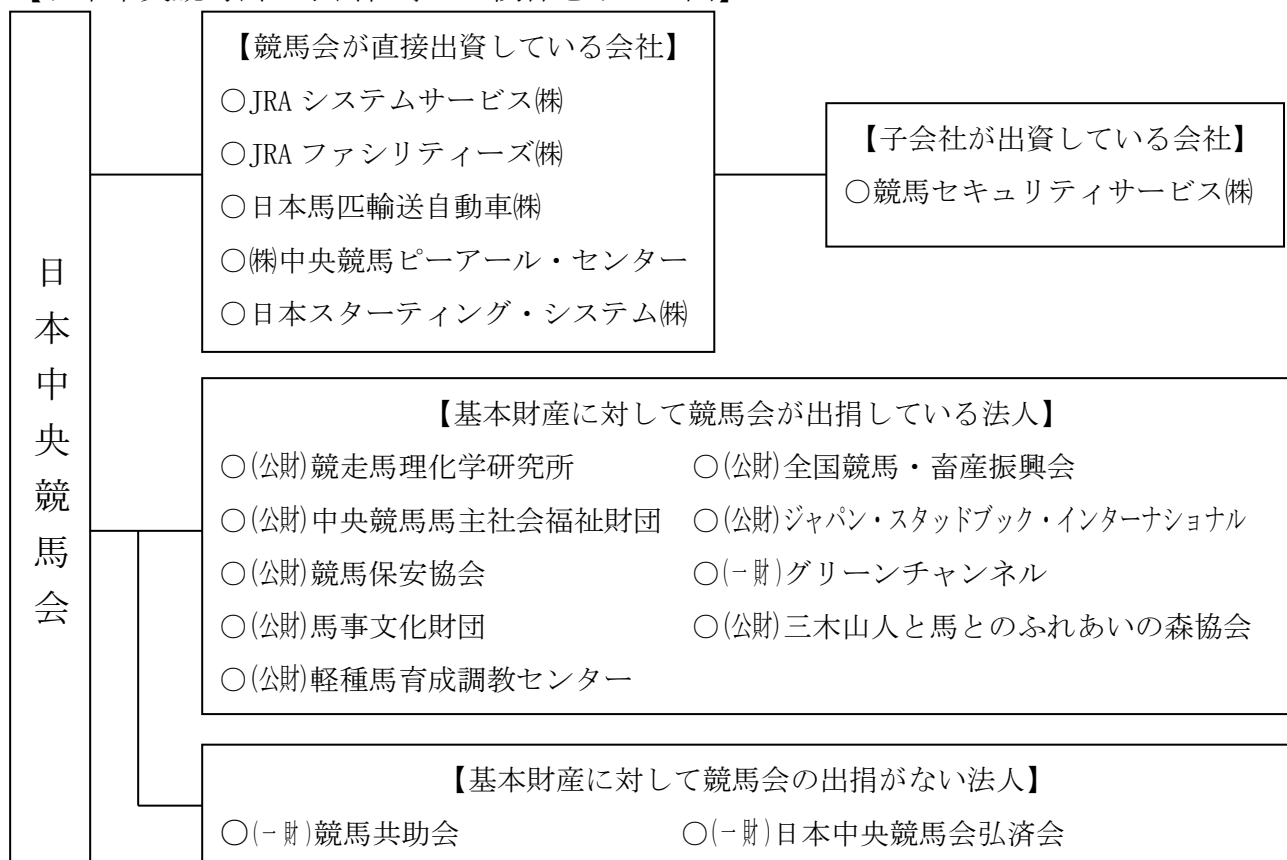
Ⅲ 子会社等に関する事項（平成 27 年度末現在）

1. 子会社等の状況

日本中央競馬会法施行規則（昭和 29 年農林省令第 56 号）第 10 条第 3 号に定める子会社等の状況は以下のとおりです。

- (1) 子会社：JRA システムサービス(株)、JRA ファシリティーズ(株)、日本馬匹輸送自動車(株)、(株)中央競馬ピーアール・センター、日本スターティング・システム(株)、競馬セキュリティサービス(株)
- (2) 関連会社：なし
- (3) 関連一般社団法人等：(公財)競走馬理化学研究所、(公財)中央競馬馬主社会福祉財団、(公財)競馬保安協会、(公財)馬事文化財団、(公財)軽種馬育成調教センター、(公財)全国競馬・畜産振興会、(公財)ジャパン・スタッドブック・インターナショナル、(-財)グリーンチャンネル、(公財)三木山人と馬とのふれあいの森協会、(-財)競馬共助会、(-財)日本中央競馬会弘済会

【日本中央競馬会と子会社等との関係を示した図】



2. 子会社の名称、住所、資本金、事業内容、役員数、代表者の氏名、従業員数、日本中央競馬会の所有する議決権の議決権の総数に対する割合及び日本中央競馬会との関係

子会社の名称・住所 代表者の氏名 資本金 競馬会の議決権所有割合	主な事業内容	売上高 当期純利益 利益剰余金 (H26決算額)	役員数 (うち常勤) 従業員数	競馬会との関係 ア 売上高中の競馬会との取引額 (H26実績) イ 競馬会との重要な取引の概要 ウ 競馬会役員の兼任状況
JRAシステムサービス㈱ 【平成19年10月設立】 東京都江東区永代1-14-5 代表取締役社長 齊藤 茂 500,000千円 54.5% (子会社を含めた議決権の所有割合100%)	・トータリゼータシステム及び各種情報処理システム並びにそれらのシステムに関連する機器の運用及び保守整備 ・競馬に関する情報の提供 ・各種機器・車両及び競馬用諸設備の売買及び賃貸並びにそれらに付帯する物品の売買及び賃貸	(百万円) 18,837 397 6,836	(人) 13 (10) 500	ア 14,846百万円 イ ・トータリゼータシステム等の運用保守管理業務 ・トータリゼータシステム等のソフトウェア開発業務 ・競馬に関する情報の提供システムの運用業務 ・電子計算機等のリース業務 ウ なし
JRAファシリティーズ㈱ 【平成19年10月設立】 東京都中央区八丁堀3-19-9 代表取締役社長 田村 正明 300,000千円 94.9% (子会社を含めた議決権の所有割合100%)	・建物、馬場、造園及び各種設備の保守管理並びに関連資材の販売 ・施設等の清掃、環境衛生、防疫、廃棄物の管理及び警備 ・出走馬一覧表等各種刊行物の作製及び版下作成 ・飼糧、敷料及び添加物等の輸入並びに販売 ・損害保険代理業及び生命保険の募集等	18,057 726 8,697	9 (7) 416	ア 13,643百万円 イ ・競馬場その他諸施設の清掃業務 ・レーシングプログラム等印刷業務 ・競馬場等の馬場等施設の保守管理業務 ・競馬場等の諸施設の損害保険代理業務 ウ なし
日本馬匹輸送自動車㈱ 【昭和22年8月設立】 東京都港区新橋6-20-11 代表取締役社長 金田 裕之 36,000千円 100%	・競走馬の輸送	1,860 ▲65 1,107	4 (3) 85	ア 1,828百万円 イ ・競走馬輸送業務 ウ なし
㈱中央競馬ピーアール・センター 【昭和53年10月設立】 東京都港区新橋4-5-4 代表取締役社長 星野 年彦 20,000千円 64.3% (子会社を含めた議決権の所有割合100%)	・競馬及び馬文化等に関する図書及び印刷物の企画、編集、制作、出版及び販売 ・競馬及び馬文化等に関する映像業務、音声業務並びにその機器の運用、開発、販売、賃貸及び保守整備 ・競馬及び馬文化等に関する各種情報の収集及び提供	5,460 125 1,643	5 (3) 102	ア 2,641百万円 イ ・映像伝送ネットワークシステム運用保守管理業務 ・写真管理業務 ・競馬機関誌発行業務 ウ なし
日本スターティング・システム㈱ 【昭和40年9月設立】 東京都港区西新橋1-22-10 代表取締役社長 和田 雅雄 10,000千円 100%	・発馬機及びその周辺機器等の運用並びに保守整備 ・発馬機及びその周辺機器の賃貸並びに販売 ・競走馬の発走に関する補助	1,362 119 409	5 (3) 72	ア 1,354百万円 イ ・発馬機作業及び機材輸送業務 ウ なし
競馬セキュリティサービス㈱ 【平成4年11月設立】 東京都港区西新橋3-2-1 代表取締役社長 山川 雅典 100,000千円 0% (子会社を含めた議決権の所有割合100%)	・総合警備保障業務 ・労働者派遣業務	3,023 123 1,919	5 (2) 109	ア 2,717百万円 イ ・競馬場その他諸施設の常駐警備業務 ・中央競馬開催日の場内警備業務・出走馬警備業務及び交通警備管理業務 ・競馬場有料駐車場整理、競馬場入場券等発売管理業務 ウ なし

3. 関連一般社団法人等の名称、住所、基本財産、事業内容、役員数、代表者の氏名、職員数及び日本中央競馬会との関係

関連一般社団法人等の名称・住所 代表者の氏名 基本財産	主な事業内容	年間収入 (H26決算額)	役員数 (うち常勤) 従業員数	競馬会との関係 ア 年間収入中の競馬会支出額 (H26実績) イ 競馬会の業務との関係及び 競馬会との重要な取引の概要 ウ 競馬会役員の兼任状況
(公財)競走馬理化学研究所 【昭和40年8月設立】 栃木県宇都宮市鶴田町1731-2 理事長 益満 宏行 1, 030, 243千円	<ul style="list-style-type: none"> 競走馬に施用される薬品及び薬剤の検査及び研究 騎手に施用され、又は騎手を使用する薬品及び薬剤の検査及び研究 馬の親子判定及び個体識別に係る検査及び研究 農畜産物等に使用される薬品及び薬剤等の検査及び研究 	916 (百万円)	6 (3) 38 (人)	ア 398百万円 イ 「日本中央競馬会競馬の施行等に関する規約」に定める競走馬に係る薬物検出機関 ・競走馬薬物検査業務 ・薬物検査法の開発に関する研究委託業務 ウ なし
(公財)中央競馬馬主社会福祉財団 【昭和44年10月設立】 東京都港区虎ノ門4-1-21 理事長 佐藤 浩二 5, 506, 440千円	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉を目的とする事業に対する助成 国又は地方公共団体が後援等を行っている公益事業に対する助成 中央競馬関係者の福利厚生の上昇のための事業 	442	11 (1) 6	ア なし イ 競馬会が馬主に交付した競馬賞金の一部を使用してその事業を実施 ウ 理事（非常勤） 後藤 正幸（競馬会理事長） 理事（非常勤） 小林善一郎（競馬会常務理事）
(公財)競馬保安協会 【昭和46年5月設立】 東京都港区新橋4-5-4 理事長 加地 隆治 10, 000千円	<ul style="list-style-type: none"> 競馬の公正確保のために必要な調査並びに情報及び資料の収集 競馬の公正確保のために必要な研究 	1, 461	5 (5) 146	ア 1, 359百万円 イ 競馬の公正確保に必要な調査等を実施 ウ なし
(公財)馬事文化財団 【昭和51年4月設立】 神奈川県横浜市中区根岸台1-3 理事長 畑山 光伸 1, 733, 121千円	<ul style="list-style-type: none"> 馬に関する文献、標本、写真、フィルム等の博物資料（以下「馬事博物資料」）の収集、保管及び展示 馬事博物資料に関する印刷物の編集及び刊行 根岸競馬記念公苑の馬の博物館その他施設の管理運営 	707	7 (3) 22	ア 272百万円 イ 根岸競馬記念公苑「馬の博物館」、東京競馬場「JRA競馬博物館」及び「Gate. J」の管理運営等を実施 ウ なし
(公財)軽種馬育成調教センター 【平成3年3月設立】 北海道浦河郡浦河町字西舎528 理事長 大平 俊明 1, 000, 000千円	<ul style="list-style-type: none"> 軽種馬の競走能力の向上等に関する調査研究 育成調教技術者の養成 共同利用に供する育成調教施設の運営・管理 	737	6 (2) 42	ア 448百万円 イ 日高育成牧場の日高育成総合施設軽種馬育成調教場の管理運営等を実施 ウ なし
(公財)全国競馬・畜産振興会 【平成3年10月設立】 東京都港区新橋4-5-4 会長 小西 敏之 1, 000, 000千円	<ul style="list-style-type: none"> 競馬の健全な発展を図るための事業に対する助成 畜産の振興に資するための事業等に対する助成 	163	7 (2) 9	ア 85百万円 イ 競馬の健全な発展を図るための事業並びに畜産振興事業等に対する助成等を実施 ウ なし

関連一般社団法人等の名称・住所 代表者の氏名 基本財産	主な事業内容	年間収入 (H26決算額)	役員数 (うち常勤) 職員数	競馬会との関係 ア 年間収入中の競馬会支出額 (H26実績) イ 競馬会の業務との関係及び 競馬会との重要な取引の概要 ウ 競馬会役員の兼任状況
(公財)ジャパン・スタッドブック・ インターナショナル 【平成22年12月設立】 東京都港区新橋4-5-4 理事長 佐藤 浩二 1, 0 4 0, 8 3 0 千円	<ul style="list-style-type: none"> ・海外における競馬に関する情報の収集及び提供並びに我が国の競馬に関する情報の海外への提供 ・競馬の施行、競走馬の育成に関する海外の競馬関係者との技術の交流 ・軽種馬の登録及び登録証明書の発行 ・軽種馬の登録書その他関係図書の刊行 	(百万円) 8 2 2	(人) 6 (2) 3 3	ア 4 4 5 百万円 イ 競馬会が必要とする海外における競馬に関する情報の収集・提供及び競馬会の行う馬の登録の基礎となる軽種馬の血統登録等を実施 ウ 監事（非常勤） 木所 康夫（競馬会理事）
(一財)グリーンチャンネル 【平成5年9月設立】 東京都江東区永代1-14-5 理事長 石井 秀司 1, 0 0 0, 0 0 0 千円	<ul style="list-style-type: none"> ・競馬及び農林水産業に関する通信衛星を利用した放送業務 ・競馬、馬事及び畜産に関する番組の制作及びその支援 	3, 3 3 5	8 (3) 2 3	ア 2 百万円 イ 通信衛星を利用した中央競馬関連の映像情報に関する番組制作、配信等を実施 ウ なし
(公財)三木山人と馬とのふれあいの森協会 【平成6年6月設立】 兵庫県三木市別所町高木 三木ホースランドパーク 理事長 増田 純一 2 0 0, 0 0 0 千円	<ul style="list-style-type: none"> ・野外、体験活動等による交流事業の実施 ・馬事に関する普及啓発 ・乗馬施設等馬事に関する施設の整備及び維持管理 	4 5 2	8 (3) 1 7	ア 3 5 2 百万円 イ 兵庫県三木市における乗馬施設等馬事に関する施設の管理運営等を実施 ウ なし
(一財)競馬共助会 【昭和23年9月設立】 東京都港区新橋4-5-4 会 長 大野 良三 1, 5 0 0, 0 0 0 千円	<ul style="list-style-type: none"> ・厩舎関係者等に対する福利厚生に関する事業 ・診療所及び厚生会館の運営 ・競馬愛好者の利便に資するための厚生施設の管理・運営 ・競馬文化発展に資する事業 	3, 1 7 0	7 (3) 8 5	ア 6 2 6 百万円 イ 中央競馬厩舎関係者の福利厚生団体 ウ 理事（非常勤） 木所 康夫（競馬会理事）
(一財)日本中央競馬会弘済会 【昭和39年12月設立】 東京都港区六本木6-11-1 会 長 鈴木 良治 1, 6 0 0, 0 0 0 千円	<ul style="list-style-type: none"> ・畜産に関する調査研究及び資料の収集 ・職員の福利厚生に関する事業 	1 8 3	7 (1) 8	ア 0. 2 百万円 イ 競馬会職員の福利厚生団体 ウ なし

Ⅳ 日本中央競馬会が対処すべき課題

1. 閣議決定

(1) 「特殊法人の整理合理化について」(平成7年2月24日閣議決定)

地方競馬との交流競走の拡大を図るとともに、通信衛星による競馬映像情報の提供、地方競馬場における中央競馬の勝馬投票券の発売等をすすめることにより、ファンサービスの改善と地方競馬への支援に努める。また、勝馬投票券の発売・払戻の自動化等により勝馬投票業務効率化に努める。

(2) 「特殊法人等整理合理化計画」(平成13年12月19日閣議決定)

管理経費・競走事業費の削減など更なる事業の効率化を図る。その一環として、公正確保と両立させつつ、一般競争入札等の範囲を大幅に拡大するとともに、関係会社等に対する委託費等を削減する。

(3) 「行政改革の重要方針」(平成17年12月24日閣議決定)

事業

【助成金交付事業】

- 当事業の透明性向上のためにこれまで講じている外部有識者委員会による助成事業の選定・評価、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律の規定の準用等に加え、助成事業の評価結果を全面的に公表する仕組みを導入する。
- 国の畜産関係補助金との役割分担を明確化する。

【中央競馬関係事業】

- 競争性のある契約のうち競馬の公正・中立性の確保上支障のない契約については、そのすべての契約を、平成22年までのできる限り早い時期に競争入札に移行させる。
- 子会社・関係会社の組織・事業の再編・統廃合を実施する。
- 入札結果・経営内容等の情報開示を一層進める。

【その他】

- 外部監査を導入する。

組 織

- 組織運営について、一層の効率化を図るため、次の措置を講ずる。
 - ・ 競馬の公正・中立性の確保上支障のない範囲において主務大臣の関与・規制の緩和。
 - ・ 内部組織として学識経験者等で構成される中立性を有する機関の設置。
 - ・ 当該機関による定量的な経営目標の設定及び業績評価の実施。
 - ・ 当該経営目標の公表及び当該業績評価の結果の公表。
 - ・ 経営不調時における役員解任規定導入。

2. 「特殊法人に関する行政評価・監視結果に基づく勧告（日本中央競馬会）」

（平成 14 年 1 月 18 日総務大臣から農林水産大臣へ勧告）

支出の見直しについて

（1）経費の節減等

- ア) 施設整備の抑制
- イ) 施設利用料の適正化
- ウ) 子会社等との契約の見直し
- エ) 窓口業務の自動化に伴う要員縮減の推進
- オ) 競走事業費の支出の抑制

（2）ウインズの新設の抑制と運営の効率化

（3）抽せん馬制度の見直し

3. 「独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律」の施行に伴う情報公開への適切な対応（平成 14 年 10 月 1 日法律施行）

この事業報告書は、日本中央競馬会法施行規則第 8 条の 2 の規定に基づき、記載しています。なお、日本中央競馬会の事業年度は、1 月 1 日から 12 月 31 日までとなっています。

J R Aの事業活動について

(平成 27 年)

- J R Aは、毎週走り続けます。 -

(平成 27 年度事業報告書別冊)

はじめに

J R Aでは、平成27年度についても、「お客様とともに」「夢と感動とともに」「信頼とともに」「社会とともに」「そして未来へ」の5項目で構成する「経営の基本方針」に沿った事業活動を行ってまいりました。

競馬の施行面では、お客様が参加しやすい開催日程の設定に取り組み、全国10か所の競馬場において、経営の基本目標の1つである、年間288日（36開催）の競馬を着実に円滑に施行することができました。

また、競走面では、4歳以上馬で新たなスターが誕生した一年となりました。モーリスは1月に1,000万円下の条件戦を勝利した後、国内G I 2勝、香港マイル優勝を含む6連勝で年度代表馬となりました。さらに、7月に1,000万円下の条件戦を勝ったゴールドアクターは4連勝で、第60回有馬記念を勝利しました。一方、騎手の世界でも、装いを新たに札幌競馬場で初めて開催した「ワールドオールスタージョッキーズ」では国内外の一流ジョッキーによる迫力あるレースが注目を集めました。また、J R Aの通年免許を取得したミルコ・デムーロ騎手、クリストフ・ルメール騎手が共に年間100勝を達成し、大活躍いたしました。このような世界レベルかつ個性溢れる競走馬や騎手による充実した競馬の提供により、お客様に「レースの迫力」「馬の美しさ」「推理の楽しみ」が一体となった競馬の魅力を実感していただき、「夢と感動」をお届けできたものと考えております。

こうした中、経営の基本目標の1つである、中央競馬のお客様総数は、延べ1億6,585万人余（対前年比101.3%）と、2年連続で前年を上回る結果となりました。また、勝馬投票券の発売金も、2兆5,886億円余（対前年比：103.6%）と、4年連続で前年実績を上回りました。

こうした結果は、平成27年のJ R Aの事業活動について、事業計画の項目毎に取りまとめた以下の報告のとおり、「身近さ」「わかりやすさ」「参加しやすさ」をコンセプトとした様々な施策が実を結んだものと考えておりますが、今後、人口が減少していく中、ボーダーレス化した顧客獲得競争の激化などが続くと考えられ、中央競馬を取り巻く環境は引き続き予断を許さないものと考えております。

平成27年の事業活動の結果を的確にフィードバックし、国際的なスポーツエンターテインメントとしての競馬の更なる魅力向上、お客様の利便性向上、事業運営の効率化・合理化、社会貢献活動等に役立ててまいります。

<目次>

○ 平成27年度事業計画に掲げた項目等の実施概況

1. 競馬番組の充実	P 3
2. 質の高い競走の提供	P 4
3. 競馬の公正確保の徹底	P 7
4. 販売促進施策の推進	P 10
5. 競馬への参加促進施策の推進	P 14
6. 施設の改善及び整備	P 20
7. コンピュータ・システムに関する取組み	P 21
8. 中央競馬事業の継続的な安定化を図るための取組み	P 22
9. 事業運営に対する信頼性確保に関する取組み	P 23
10. 競馬の国際的な発展への取組み	P 23
11. 社会活動への取組み	P 25

平成27年度事業計画に掲げた項目等の実施概況

1. 競馬番組の充実

項目	内訳	具体的な内容
(1) 開催計画について		<ul style="list-style-type: none"> ○ 288日(36開催)の競馬開催を全国10か所の競馬場において施行 ○ より多くのお客様にご参加いただくため、土・日曜日以外の祝日における競馬開催を1月12日(祝・月)、9月21日(祝・月)、10月12日(祝・月)、11月23日(祝・月)に設定 ○ 祝日開催の配置等に伴い、また、年間を通じた東西からの円滑な出走に資する観点から、第3場の開催日数及び配置を見直した
(2) 重賞競走の改善について		
	① 古馬牝馬競走のローテーションの改善に伴い新設する競走について	<ul style="list-style-type: none"> ○ 年間を通じた古馬牝馬競走のローテーションを改善するため、第5回中山競馬第5日に既存のオープン特別競走(「ターコイズステークス」)を格上げして重賞競走を新設 ○ これまで12月に施行していた「農林水産省賞典愛知杯(GⅢ)」については休止
	② 障害競走のローテーションの改善に伴い施行時期を変更する競走について	<ul style="list-style-type: none"> ○ 障害競走のローテーションを改善するため、「中山大障害(J・GⅠ)」「東京ハイジャンプ(J・GⅡ)」「京都ジャンプステークス(J・GⅢ)」の施行時期を変更
	③ 開催日割の変更に伴い配置を変更する競走について	<ul style="list-style-type: none"> ○ 北海道地区における開催日割の変更や秋季の中山競馬の開催日割が平年に戻ることに伴い、一部重賞競走の施行場・施行時期・施行日を変更
	④ 競走名を変更する競走について	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成27年は、日本とサウジアラビア王国の外交関係樹立60周年にあたることから、これを記念して、「いちょうステークス(新設重賞)」を「サウジアラビアロイヤルカップ(重賞)」に変更 ○ 上記に伴い、「サウジアラビアロイヤルカップ富士ステークス(GⅢ)」を「富士ステークス(GⅢ)」に変更
(3) ワールドスーパージョッキーズシリーズの施行時期・施行場の変更について		<ul style="list-style-type: none"> ○ ワールドスーパージョッキーズシリーズは、施行時期・施行場を変更し、夏季の札幌競馬場においてワールドオールスタージョッキーズとして実施
(4) 地方競馬との交流競走		
	① 地方競馬指定交流競走	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地方競馬において、ダート交流重賞競走として40競走(11主催者)が施行され、すべての競走に延べ184頭の中央競馬所属馬が出走し、36競走で優勝 ○ 地方競馬における条件交流競走は163競走(13主催者)が施行され、延べ904頭の中央競馬所属馬が出走 ○ 本賞金額の50%(九州産馬限定競走は90%)を上限として交流競走協力金を交付

② 認定競走	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地方競馬において、181競走（11主催者）の認定競走を施行 ○ なお、平成27年もすべての主催者において、上位に格付けされた競走を認定競走として施行（北海道においてのみ従来の新馬・未勝利クラスの認定競走も併せて施行） ○ 認定競走には、本賞金額の90%を上限として認定競走協力金を交付
③ 中央競馬指定交流競走	<ul style="list-style-type: none"> ○ ダート重賞15競走を中央競馬指定交流競走として施行し、そのうち7競走に地方競馬所属馬が延べ10頭出走 ○ 芝のGI競走とそのステップ競走を中央競馬指定交流競走として施行。ステップ競走には1競走に地方競馬所属馬が延べ1頭出走（GI競走に出走した地方競馬所属馬はなし）
④ 中央競馬特別指定交流競走	<ul style="list-style-type: none"> ○ 認定競走の優勝馬が出走できる中央競馬特別指定交流競走には、2歳では26競走に延べ50頭、3歳では26競走に延べ34頭の地方競馬所属馬が出走

2. 質の高い競走の提供

項目	内訳	具体的な内容
(1) 競走馬の資質向上等への取組み		競走馬総合研究所をはじめとする関係部署においては、平成27年度の研究計画に沿って競走馬の保健衛生、調教管理、生産及び育成などに関する研究を実施。また、その成果を活用し、防疫体制の整備、事故防止及び生産育成基盤の強化などを実施
	① 競走馬の資質の向上	
	i) 競走馬の保健衛生対策を通じた取組み	<ul style="list-style-type: none"> ○ 競走馬総合研究所を中心として、スポーツ科学・スポーツ障害・先端獣医療・生産基盤強化・伝染病対策などに関する研究を引き続き実施。また、その結果を普及・指導するため、学会や講演会などで研究成果を発表 ○ 重点研究課題としては、「競走馬の合理的なトレーニング方法の確立ー調教量と調教パターンの解析ー（平成25年～27年）」をプロジェクト研究として実施 ○ バイオテクノロジーなどの先端技術を応用した研究としては、(独)農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究所との共同研究により、「馬感染症の新規診断法開発のための分子生物学的基礎研究（平成27年～29年）」を実施 ○ 軽種馬生産地における疾病などの諸問題を解決する調査研究としては、「抗ミューラー管ホルモン濃度測定による成馬の性腺異常の診断に関する研究（平成25～27年）」を実施 ○ 外部研究機関への委託により、「運動刺激によるサラ

	<p>ブレット骨格筋における毛細血管発達の評価方法の確立（平成２６～２８年）」や「馬インフルエンザウイルスと特異的に結合する糖鎖材料の合成（平成２７～２９年）」などの研究を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 競馬サークルへの研究成果の普及及び学術交流を図るため、１１月３０日に「第５７回競走馬に関する調査研究発表会」を開催 ○ 生産地への研究成果の普及、生産者の研究ニーズの把握を目的とし、７月１６日に「第４３回生産地における軽種馬の疾病に関するシンポジウム」を開催
ii) 競走馬の育成を通じた取組み	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日高育成牧場及び宮崎育成牧場において、サラブレッド市場購買馬（平成２６年購買の２歳馬７４頭のうち７２頭及び平成２７年購買の１歳馬７４頭）を用いて、育成に関する研究を実施 <p>また、日高育成牧場に繋養しているサラブレッド繁殖牝馬及びその産駒（生産馬：当歳８頭・１歳７頭・２歳７頭）（※２歳馬７頭のうち２頭は宮崎育成牧場に繋養）を用いて、生産・育成に関する研究を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 育成に供した２歳馬は、４月に中山競馬場においてＪＲＡブリーズアップセールを開催し、生産馬６頭を含む６７頭を売却 ○ 実践的な技術指導、講習会、ホームページなどを通じ、生産育成研究及び技術開発によって得られた成果の普及・啓発を実施
② 競走馬の事故防止対策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 競走馬の事故（骨折等）を防止し、充実した競馬施行に資するため、調教施設及び馬場の保全管理を実施 ○ 競走馬の事故発生状況を随時調査・分析するとともに、事故防止に対する意識の向上を目的として、厩舎関係者を対象とする各種研修会を開催 ○ 事故防止に関する調査研究としては、競走馬総合研究所を中心に「屈腱炎の治癒評価法に関する調査研究」、「競走中・調教中に発症する重篤な疾患における薬物使用実態および遺伝学的背景の調査研究」及び「馬場柵等付帯施設の安全性向上に関する研究」を実施
③ 防疫体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「日本中央競馬会競走馬伝染病防あつ規程」に基づく入厩検疫、定期検査及び予防接種を実施するとともに、環境衛生対策、疫学調査、ワクチンの備蓄等の防疫措置を実施 ○ 家畜伝染病予防法で定められた「飼養衛生管理基準（馬）」に基づいて、本会施設内の衛生管理を実施 ○ 所轄官庁の指導に基づき、国際交流競走に参加する外国馬及び海外遠征する日本馬の輸出入検疫に付帯する業務を実施 ○ 馬伝染性子宮炎の国内清浄化の達成を受け、（公社）日本軽種馬協会が実施する「馬伝染性子宮炎自衛防疫事業」を通じ、清浄化後の疫学監視を実施

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生産育成地における疾病蔓延防止及び本会施設内への疾病侵入阻止を目的とし、(公社)中央畜産会が実施する「馬伝染性疾病防疫推進対策事業」を通じ、本会施設への入厩前の育成馬や繁殖牝馬、乗用馬等を対象とする予防接種(馬インフルエンザ、日本脳炎、破傷風、馬鼻肺炎)を推進 ○ 「生産地における軽種馬の疾病に関するシンポジウム」やトレセン周辺牧場との防疫協議会を開催し、防疫体制を強化 ○ 国内の防疫体制の強化を目的とし、競走馬総合研究所栃木支所において、馬の病原性ウイルス・細菌に対する各種消毒薬の不活化効果に関する調査研究、ウマコロナウイルス及びロドコッカス・エクイの LAMP 法による診断技術の開発、両トレーニング・センターの馬鼻肺炎不活化及び生ワクチン接種馬における血清抗体保有状況調査を実施 ○ 国内外の伝染病情報を、軽種馬防疫協議会のホームページ及び「馬飼養衛生管理特別対策事業」の講習会やパンフレットを通じ関係者に広報 ○ 「馬防疫検討会本会議」を開催し、馬パラチフスの新たな血清学的検査法について提言
④ 生産育成基盤の強化	
i) 国内生産基盤の整備	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生産育成技術の向上を目的として、(公社)日本軽種馬協会が実施する軽種馬経営高度化指導研修事業に協力 ○ 「軽種馬経営強化改善資金融通円滑化事業」の緊急対策について、農水省、北海道、関係機関及び関係部署と調整を図り、運営を支援 ○ 資質に優れた繁殖牝馬群の継続的な整備を目的として、(公社)日本軽種馬協会が実施する優良繁殖馬導入促進事業及び繁殖牝馬流通活性化事業に協力 ○ 諸団体が実施する国内セリ市場における流通促進及び東南アジア諸国への内国産馬の流通促進に協力 ○ 生産者賞の審査・交付認定を実施 ○ 産地・セリ市場におけるアナボリックステロイド撲滅に向けた周知・広報を実施。また、千葉サラブレッドセールでのアナボリックステロイド検査導入を支援
ii) 生産育成に関わる人材養成	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生産育成調教技術者の養成を目的として、(公財)軽種馬育成調教センターが実施する育成調教技術者養成事業、(公社)日本軽種馬協会が実施する軽種馬生産育成技術者養成推進事業に助成 ○ 生産育成牧場の若手就業者不足の対応策として、(公社)競走馬育成協会が実施する生産育成牧場への就業者参入促進事業に協力
(2) 厩舎関係者に関わるシステム(厩舎関連システム)の改善	

① 定期貸付馬房について	○ 各調教師からの貸付馬房数の申請受付と成績査定を行ったうえ、3月1日付で栗東トレーニング・センターでは2,070馬房を、美浦トレーニング・センターでは2,024馬房をそれぞれ貸付け
②その他	○ 年度途中の調教師の勇退等に伴い、トレーニング・センターにおける定期貸付け及び臨時貸付けを適正に実施 ○ 調教助手・厩務員（調教厩務員を含む）の承認に伴う、平成27年度末の状況 <p>a) 調教助手</p> 平成26年度末 1,686名 新規に承認した者 54名 （栗東18名、美浦36名） 平成27年度末現在 1,692名 （栗東955名、美浦737名） <p>b) 厩務員</p> 平成26年度末 783名 新規に承認した者 13名 （栗東0名、美浦13名） 平成27年度末現在 741名 （栗東277名、美浦464名） ○ 厩舎制度の改善に向けた（一社）日本調教師会の取り組みを支援
（3）厩舎関係者の養成等について	
① 競馬学校騎手課程生徒の養成	○ 騎手課程においては、平成24年度入学の第31期生4名が卒業 【平成27年度末現在の在校生徒状況】 1年生 5名（34期生5名）（基礎課程） 2年生 7名（33期生6名、32期生1名）（9月15日以前は基礎課程、以降は実践課程） 3年生 6名（32期生4名、31期生2名）（実践課程）
② 競馬学校厩務員課程生徒の養成	○ 厩務員課程においては、25名が卒業
③ 厩舎関係者の研修	○ 新規調教師及び騎手に対し、当該業務に必要な知識の習得を求めるための研修を実施

3. 競馬の公正確保の徹底

項目	内訳	具体的な内容
（1）公正な競走の安全・円滑な施行		
① お客様に信頼される競馬の提供		
i) 公正確保の維持		○ 「公正確保」は、競馬に対する社会的信用を維持するうえでの根幹となるものであることから、公正確保上対応が必要な事案に関して調査等を実施するとともに、厩

	<p>舎関係者に対して適宜指導を実施</p> <p>○ 平成27年度については、騎手による交通死亡事故が1件発生したため、調査のうえ裁定委員会を開催し当該騎手に対して騎乗停止5ヶ月の処分を実施</p>
ii) 騎手・調教師に対する制裁	<p>○ 競馬開催における騎手に対する制裁は、戒告・過怠金が849件（うち地方競馬における戒告が3件）、騎乗停止が50件（うち地方競馬における騎乗停止が2件）。中央競馬における騎乗停止処分の内訳は、進路の取り方によるものが46件（第1着から第3着までに入線した馬にかかるものが28件、その他が18件）</p> <p>○ 競馬開催における調教師に対する制裁は、戒告・過怠金が67件（うち地方競馬における戒告が9件）</p>
iii) 研修会等の実施	<p>○ 競馬の公正、安全及び円滑な施行に資するため、制裁点数制による騎手の再教育（延べ39名に対して実施）、障害騎手研修、若手騎手研修を実施</p>
② 審判関係業務の充実及び改善	<p>○ お客様の競走ルールを理解を醸成するため、失格・降着の判断基準及び審議の公表に関する解説映像をリニューアルし、開催日に放映。また、ホームページ・レーシングプログラムにも競走ルール解説を掲載</p> <p>○ 国際協調に関しては、IFHA「競走ルール（裁決事項）の調和に関する委員会」に出席し、諸外国の裁決担当者と意見交換を行い、日本が検討すべき課題について裁決担当者間で検討を実施。また、ワールドベストレースホースランキング会議に出席し、2015年度の競走馬の世界ランキングを決定</p> <p>○ 地方競馬との協調に関しては、地方競馬全国協会と情報連絡会議を実施し、裁決業務に関する課題について協議・検討を実施</p>
③ 騎手ドーピングの実施	<p>○ 騎手の健康保護及び競走の安全を図るため、「騎手の薬物使用に関する検査実施要綱」に基づき、騎手に対するドーピング検査を実施</p> <p>○ 平成27年度より制度の充実を図るべく従来の理化学検査に加えアルコール呼気検査を実施</p>
（2）登録・免許及びその取消しの厳正な実施	
① 登録及び免許の実施状況	
i) 馬主登録	<p>平成26年度末 2,335名（うち法人295、組合52、本邦外16）</p> <p>新規登録 158名（うち定期124、法人2、組合4）</p> <p>登録抹消 133名（うち法人12、組合1）</p> <p>平成27年度末現在 2,360名（うち法人302、組合55、本邦外17）</p>
ii) 競走馬登録	<p>平成26年度末 7,765頭</p> <p>新規登録 5,081頭（うち再登録295頭）</p> <p>登録抹消 5,057頭</p>

	平成 27 年度末現在 7,789 頭
iii) 服色登録	平成 26 年度末 1,910 件 新規登録 132 件 登録抹消 138 件 平成 27 年度末現在 1,904 件
iv) 調教師免許	平成 26 年度末 202 名 免許不更新の者 8 名 平成 27 年度免許者 200 名 〔3 月 1 日付 更新 194 名、新規 6 名〕 ※その後、取消者 1 名 平成 27 年度末現在 199 名
v) 騎手免許	平成 26 年度末 127 名 免許不更新の者 3 名 平成 27 年度免許者 130 名 〔3 月 1 日付 更新 124 名、新規 6 名〕 ※その後、取消者 2 名 平成 27 年度末現在 128 名
	※ i) ～ v) について、いずれも国際交流競走、国際騎手招待競走及び地方競馬との指定交流競走は除く数
② 短期免許の交付	○ 外国人騎手の短期免許について、平成 27 年度は 11 名（延べ 14 名）に臨時試験による短期免許を交付
③ クラブ法人への対応	○ クラブ法人関連については、金融商品取引法関連法令に基づく登録業者の指導を監督官庁との連携のもと実施
(3) 不正事案の未然防止及び自主警備体制の整備	○ 競馬の公正な施行を確保するため、厩舎地区などの業務エリアにおける警備を万全な体制で実施 ○ お客様の安全確保及び場内外の秩序維持のため、自主警備を万全な体制で実施するとともに、関係機関と連携し、競馬の公正を阻害するおそれのある者の発見と排除を徹底 ○ 警備体制の策定にあたっては、「警備体制に関するガイドライン」に基づき、来場者の安全確保を前提としたうえで、効率的な配置を実施
(4) 禁止薬物に対する取組み	○ 公正な競馬の施行に資するため、引き続き禁止薬物の取締りに関する指導・啓発を実施 ○ 日本中央競馬会の競馬の施行等に関する規約第 58 条に規定される理化学検査を適正に実施し、また、当該検査機関である（公財）競走馬理化学研究所が実施する競馬の公正確保に関連する事業に協力 ○ 出走馬に禁止薬物が使用されることのないよう、厩舎関係者及び飼料納入業者に対する指導・啓発等の活動を実施 ○ 平成 26 年 12 月に発生した禁止薬物陽性事案について、再発防止に努めるとともに、今後同種事案が発生した際によりの確かつ迅速に対処できるように対応マニュアルを改定

		<ul style="list-style-type: none"> ○ 禁止薬物陽性事案が発生した際に迅速な対応をとるためには捜査機関との密接な協力関係が必要となることから、警察関係者に対して禁止薬物に関する説明会を実施 ○ アナボリックステロイド（ＡＳ）の取締りを強化するべく、競技外検査の対象をトレセン新入厩馬に加え、入厩検疫を実施する競馬場の入厩馬に拡大。また、平成２７年３月からＡＳ陽性馬に対する出走制限を２ヶ月から６ヶ月へ延長 ○ 馬の福祉及び安全な競馬施行する上で規制すべき薬物（規制薬物）について、関係部署と調整を図り、処分等の基準を整備し、また、厩舎関係者、開業獣医師、報道関係者等に対して説明会を実施したうえで、平成２７年４月より罰則制度を導入し、取締りを強化
（５）勝馬投票に関わる違法行為等の防止対策		
	① 未成年者の勝馬投票券購入防止対策	○ 未成年者の勝馬投票券購入防止対策として、職員等による指導注意活動を実施するとともに、レーシングプログラム等を活用した広報・告知活動を実施
	② ノミ行為、違法インターネット賭事等の防止対策	○ ノミ行為・違法インターネット賭事等の防止対策として、これらの勝馬投票類似行為が違法であることについて、レーシングプログラムやＪＲＡホームページ等を活用した啓発活動を実施
	③ 悪質な競馬情報提供会社による被害防止対策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 競馬予想に関する悪質な情報を提供する会社による被害を防止するため、情報収集を継続的に実施し、ＪＲＡホームページ内に具体的な手口・内容を記載するとともに、レーシングプログラム等各種媒体にお客様向けの注意喚起文を掲載 ○ 競馬場・ウインズにおいて放映する注意喚起ビデオ映像を新たに製作するなど、お客様に対する広報・告知活動を強化

４．販売促進施策の推進

項目	内訳	具体的な内容
（１）販売ネットワークの拡充策の実施		
	① 販売ネットワーク拡充への取組み	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小規模発売施設の実験店舗として平成２６年３月にオープンしたライトウインズ阿見については、発売金（約２２億円）や利用者数（約２０万人）から、お客様に受け入れられたと判断。実験期間終了後である平成２８年４月以降の営業継続及び平成２９年夏頃を目標とした建替えによる施設の拡充を決定 ○ 次のステップとして集客施設や駅ナカへの店舗設置へ向けて関係企業と意見交換等を実施
	② 地方競馬施設を活用した委託発売の実施	○ 平成２６年までに発売を開始した４１施設（ウインズ３か所、Ｊ－ＰＬＡＣＥ３８か所）のうち、北海道管轄の札幌駅前場外が廃止となったが、荒尾場外での

		<p>発売をBAOOを運営する（株）日本レーシングサービスへの委託発売に切り替え、新たに帯広市（名寄・ふかがわ）、千葉県競馬組合（木更津）及び愛知県競馬組合（弥富）の各管轄施設での発売を実現し、地方競馬施設を活用した委託場外を45施設まで拡大</p> <p>(発売金 W川崎 18,862,256,200 円 W浦和 10,037,526,500 円 W三本木 544,897,900 円 J－P L A C E 47,205,985,200 円 合計 76,650,665,800 円)</p>
(2) 払戻金への上乗せ施策の実施		○ 払戻金を通じたお客様への直接的な還元、中央競馬への参加促進と満足度の向上を図るため、特別振興資金を活用した「払戻金への上乗せ施策」を実施
	① 1号給付金（JRAプレミアム）	○ JRAプレミアムについては、馬連を対象とした「金杯馬連」「春の最終馬連（2/28～4/5）」「ダービーウィーク馬連」「秋の最終馬連（9/12～10/18）」「有馬記念ウィーク馬連」、単勝を対象とした「夏の2歳単勝」、単勝及び馬連を対象とした「2歳GI単勝&馬連」として、それぞれ対象投票法の売上の5%相当額の上乗せを計345競走で実施 (上乗せ総額 2,334,714,270 円)
	② 2号給付金（JRAプラス10）	○ 平成27年度も、通常の払戻金が100円元返しとなる場合に原則10円を上乗せして110円で払い戻す「JRAプラス10」を、引き続き「全ての競走の全ての投票法」を対象として実施 (506件 上乗せ総額 1,857,050,920 円)
(3) 電話・インターネット投票会員の加入促進及び利便性の向上		○ 最高払戻限度額が6億円となった「WIN5」や「地方競馬IPAT発売」といったインターネット投票の利便性を積極的にPRすること等により、電話・インターネット投票会員への加入を促進 i) A-PATの新規会員募集を年間6回実施（2か月ごとに手続き書類、利用開始案内を送付、新規登録会員数11,053名） ii) 即PAT会員及びJRAダイレクト会員の新規登録を随時実施（即PAT新規登録会員数291,239名/JRAダイレクト新規登録会員数19,601名）
	① サポート体制の充実	○ 電話・インターネット投票に関する様々な問合せに的確にお答えするため、電話やJRAホームページを用いたご案内を継続的に実施 ○ 平成26年に引き続きウインズ後樂園及びウインズ梅田において通年で、また、阪神競馬場においては自場開催限定で、対面式の「電話・インターネット投票サポートデスク」を設置し、既存会員のサポートのみならず、即PAT会員を中心とした新規会員登録受付も併せて実施

	<ul style="list-style-type: none"> ○ インターネット投票に関する問い合わせが増えていることから、問合せ対応に必要な情報を開催毎に事業所へ提供し、また一部の競馬場で職員向けに講習を実施するなどして、インターネット投票の問合せに対する受付体制を強化 ○ インターネット投票環境の確認を通年で行い、新しいOSやブラウザのバージョンアップに対応するなど、会員の利便性を向上
② 電話・インターネット投票会員向けサービスの実施	<p>【JRAダイレクト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 広告出稿等により認知度の向上を図るとともに利用を促進（発売金 44.7 億円 対前年比 105.7%） <p>【各種キャンペーン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 発売金及び参加率向上策として、電話・インターネット投票会員向けキャンペーンを以下のとおり実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 春の最終馬連キャンペーン（2～3月） ・ P L A Y B A C K D e r b y キャンペーン（4～6月） ・ 春のクラシックレースチャレンジ（5～6月） ・ オッズ・マスターズ・グランプリ 2015 ～宇宙を駆ける願い～（6～7月） ・ 秋の最終馬連キャンペーン（9～10月） ・ オッズ・マスターズ・グランプリ 2015 - R o a d t o L e g e n d - （10～12月） ・ 週刊G a l l o p & 週刊競馬ブックプレゼントキャンペーン（10～11月） ・ C L I M A X I N V I T A T I O N （11～12月） ・ 年末G I 完全走破キャンペーン（12月） ・ C l u b A - P A T キャンペーン（通年） ○ オッズ・マスターズ・グランプリを除く全てのキャンペーンをC l u b A - P A T からのエントリーとして、C l u b A - P A T 会員数の増加を促進 <p>【会員向けの情報発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 年間を通してC l u b A - P A T 会員向けのメール（C l u b A - P A T メール）を送信し、各種情報を提供（平成27年度末C l u b A - P A T 会員数約151万名、年間送信回数302回） ○ 12月に電話・インターネット投票会員（約127万名）に対し、「JRAからのお知らせ」「レーシングスケジュール」他を送付し、電話・インターネット投票及びJRAにおける各種サービス等についての案内を実施 ○ 7月のPAT方式サービス終了に伴い、平成25年・26年に引き続き、既存会員へダイレクトメール

	を郵送し、サービス終了告知と継続利用に向けた他方式への移行のご案内を実施
③ インターネット投票における地方競馬の受託発売の実施	○ A-PAT会員及び即PAT会員向けに、インターネット投票による地方競馬の受託発売を実施 (発売日数226日、発売金約415億円)
(4) 各種販売促進施策の展開	<p>【クイックピック投票・ブース販売の実施】</p> <p>○ コンピュータが馬番号・組番号を選択する「クイックピック投票」を全国の競馬場・ウインズにて、全開催日に実施。また、「クイックピック投票」を活用し、おみくじ感覚でお客様に馬券を購入していただく「ブース販売」を計31の事業所で延べ411開催日実施し、新規・ライトファン層を多く含む延べ40万名を超えるお客様に販売</p> <p>【JRAパーティーキャンペーンの実施】</p> <p>○ 結婚式や2次会向けに馬券をお届けする「JRAウェディング」を春季と秋季に実施 (実施件数74件、参加人数延べ7,208名)</p> <p>○ 結婚相談業者等と連携したお届けについては、東京競馬場来賓室を会場とした婚活パーティーを6回実施したほか、業者が街中で主催するパーティー会場にも合計24回(延べ312名)に亘り馬券お届けを実施</p>
(5) ホスピタリティの高い接客への取り組み	<p>○ 競馬場・ウインズに来場されるお客様に、良質できめ細かいサービスが提供できるよう、職員に対する各種研修の実施、従事員へのマナーアップキャンペーン等の実施により、案内・接客体制の向上を推進</p> <p>○ 案内体制及びお客様対応の実態に関する調査結果に基づき、業者委託する案内業務の整備を推進し、ダービー、有馬記念その他特定GIの施行日においては、繁忙対策での増員配置のほかに、新たに競馬参加されたお客様の案内サポートを担う「ビギナーズサポート・デスク」の要員を追加して実効性を確保</p> <p>○ 分煙化については、競馬場・ウインズに来場されるお客様の健康及び安全確保の観点から、さらに推進。具体的には、東京競馬場においてスタンド内のレストランを禁煙としたほか、各競馬場において屋外禁煙エリアの拡大を行うことにより分煙化を拡大。また、分煙化の拡大に伴い、お客様向けの分煙告知ビデオをターフビジョン・ITVにて放映する等、広報・告知活動を実施</p> <p>○ 快適な観戦環境の整備に向けて、施設内の環境美化を推進するため、全競馬場においては、クリーンキャンペーンを実施。また、ウインズにおいては、それぞれの実情に応じて、開催日清掃の範囲外のお客様エリアにおいて特別清掃を実施</p> <p>○ お客様への訴求度の向上を図るため、「開催お知らせ</p>

	<p>せ」、「レース紹介」、「出馬表」、「競走成績」等のポスターの掲出について「掲出物に関するガイドライン」に基づき、表現や規格を統一</p> <p>○ 「有料席等利用料規則」に基づき、特定G I当日のエクセルシート利用料を弾力的に設定。また、記念行事やお客様イベントにおいてはエクセルシートを利用してお客様サービスの向上と安定的なエクセルシートの運営を実現</p> <p>○ 競馬場・ウインズ等に来場するお客様の購買動向等を調査するとともに、お客様のニーズを把握するため、「顧客満足度調査」を実施し、各種施策に反映</p>
--	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

5. 競馬への参加促進施策の推進

項目	内訳	具体的な内容
(1) 広報活動の展開		
	① 競馬中継の安定的な提供	<p>○ テレビ（地上波・BSデジタル）・ラジオによる競馬中継は、お客様にレース映像・情報を提供する重要な役割を果たしていることから、競馬中継を安定的に提供することや番組内容の改善について、各局との協議・連携を継続的に実施</p>
	② 中央競馬のイメージ向上と競馬への参加促進（広告プロモーション）	<p>○ より効果的な年間プロモーションを行うため、幅広い層それぞれのお客様向けに、レースの迫力や競馬の楽しみ方といった競馬の魅力を中心に据えた広告展開を実施</p> <p>○ 日本ダービー及び有馬記念の盛り上げを図るため、様々なメディアを駆使して集中的な広告展開を実施。具体的には、バラエティ番組や情報番組内でのインフォマーシャル・競馬に関する特別番組放映といったテレビパブリシティ、集中的に露出したテレビCM、京王新宿駅ジャック広告やJR山手線でのラッピング列車の運行などの交通広告、渋谷駅周辺や梅田駅を中心とした大阪地区での大々的な屋外広告、メガ新聞・全面広告・夕刊広告ジャックといった一般紙新聞広告などを実施</p> <p>○ 競馬に対するより一層の興味喚起や理解醸成を図るため、歴史や伝統を持つ国際的なスポーツエンターテインメントとしての競馬の側面を海外の美しい映像とともに紹介するミニ番組、推理の楽しみ・ドラマ性といった競馬の魅力をコメディタッチに描いた連続ドラマ、競走馬とそれに関わる人々とのエピソードをドキュメンタリー形式で紹介するミニ番組、日本各地の馬と祭りの繋がりや日本古来の馬である在来馬の歴史と現在をシリーズで紹介する番組などのテレビ番組を放送</p> <p>○ 競馬のブランドイメージ向上のため、いきものがかりの楽曲「マイステージ」をBGMに、競馬場や季節ごとの競馬の楽しみ方をタレントの瑛太さん・有村架純さん・笑福亭鶴瓶さんを通じて描いたブランドCM「あな</p>

		<p>たの競馬が走り出す。」を春編・夏編・秋編の3編を制作・放映。また、過去の名馬が一堂に会した架空のレース映像とともに競馬と人生の関わりを描いたブランドCM「夢の第11レース」を制作・放映</p> <p>○ G I レースを告知するため、ブランドCMと同じタレントや楽曲を起用し、過去のG I レース映像とともに競馬のドラマやロマンをアピールしたCM「あなたの競馬が走り出す。」を13レースにおいて制作・放映</p>
	③ パブリシティ活動の充実	<p>○ 競馬に関する話題性を喚起するとともに、競馬に関連した紙面の充実を図るため、マスメディアへのきめ細かなパブリシティ活動を実施したことで、一般紙においても「J R A 騎手となった外国人ジョッキーの活躍」、「香港国際競走における日本馬の勝利」、「菊花賞、有馬記念における北島三郎さんの“まつり”熱唱」など、中央競馬関連記事が多く掲載され、広く世の中一般に対して、「競馬」並びに「中央競馬」をアピール</p> <p>○ 「優駿」など各種出版物により、的確かつ時宜を得た内容の情報提供をマスコミ及び一般向けに実施</p> <p>○ J R A 賞授賞式などの開催を通じて、競馬への理解促進やイメージアップを図ったほか、女性誌とタイアップした競馬観戦会等を実施し、中央競馬のイメージアップとパブリシティ効果の拡大に貢献</p>
(2) 日本ダービー（東京優駿）・第60回有馬記念におけるキャンペーンの実施とそれらを頂点としたG I シリーズにわたるプロモーションの強化		
	① 日本ダービー・有馬記念におけるプロモーション	<p>○ 競馬に馴染みのない方々にも知名度の高い「ダービー」「有馬記念」をフックとした「キッカケ」を作り、「競馬場への来場」「競馬への参加」「レースの視聴」を促進するため、大規模な街頭プロモーションを実施。具体的には、日本ダービーでは「新宿駅周辺エリア」等で、有馬記念では「秋葉原周辺」等でそれぞれの競走を幅広く告知・アピールするイベントを展開</p> <p>○ 日本ダービー・有馬記念時の開催競馬場においてテレビCMと連動した過去の優勝馬や関係者を紹介するパネルやレース映像の展示、テレビCM収録DVDプレゼント抽選会等を実施</p> <p>○ 日本ダービーにおいて、全国の競馬場・ウインズで統一の装飾を実施</p> <p>○ 有馬記念では馬番号決定の抽選会の模様をテレビで公開するとともに、60回を記念し、過去の全優勝馬を紹介するなど内容を充実させた特別版レーシングプログラムを作成</p>
	② G I プロモーションによるファンの参加促進	<p>○ 日本ダービー・有馬記念以外の各G I 競走のプロモーションを関東地区（汐留等）や関西地区（梅田等）等において実施。幅広く告知・アピールし、競馬場やパークウインズへ誘引</p>
(3) 多様なお客様層に応じたアプローチによる現金発売施設の活性化		

① 多様なお客様層に
応じたアプローチ

○ 既存のお客様により競馬をお楽しみいただくとともに、競馬に馴染みのない方々にもご参加いただけるよう、多彩なお客様サービスイベントなど、お客様のニーズを踏まえた以下の各種施策を実施

◇ G I シーズンやローカル期間に、競馬キャスターやタレント等を起用し、競馬場及びウインズにおいて各種トークショーイベントやファミリー向けキャラクターショーを実施。また、お客様への感謝の意を表するため、「お年賀タオル」（1月4日、21万枚）、「2016 J R A オリジナルカレンダー」（12月13日、41万部）を配布

◇ 夏季競馬における参加促進

全国の競馬場・ウインズにおいて「J R A サマーシリーズキャンペーン」として、「シリーズ優勝騎手予想」と「サマー2000」「サマースプリント」「サマーマイル」の優勝馬予想も実施（応募総数 約52,000名）。また、新たに札幌競馬場で開催された「ワールドオールスタージョッキーズ」をWキャンペーンとして実施（応募総数 約22,000名）

◇ 中山・東京・京都・阪神・中京の5競馬場の来場促進策として、複数場でポイントを加算できる競馬場来場ポイントキャンペーンを実施

◇ 東京競馬場・中山競馬場において、ファン化を目的とした体系的な講義内容の「実践型競馬教室（R E X S）」を展開し、競馬未経験のお客様へ積極的に競馬の魅力を訴求（実施回数190回、参加人員延べ15,552名）

◇ 全国の競馬場及び一部ウインズにおいて競馬初心者を対象とした「ビギナーズセミナー」を実施（実施日数延べ270日、参加人員延べ26,223名）

◇ 女性のお客様の取り込み・定着化策として、女性専用エリア（U M A J O スポット）を札幌競馬場、東京競馬場、京都競馬場に通年（競馬開催日）で設置。

（札幌競馬場 12日間 女性利用者数 6,848名、
東京競馬場 46日間 女性利用者数17,372名、
京都競馬場 47日間 女性利用者数16,302名）

また、福島競馬場、阪神競馬場、小倉競馬場に期間限定で設置

（福島競馬場 14日間 女性利用者数 4,030名、
阪神競馬場 31日間 女性利用者数12,801名、
小倉競馬場 12日間 女性利用者数 3,328名）

◇ J R A の公式プログラムとして、「レーシングプログラム」を年間通じて安定的に発行し、お客様へ有益と思われる各種情報を提供。特に注目度の高いレースである日本ダービーや有馬記念では発売制限のないすべての事業所で特別カラー版を配布。また、効率化の観点から引き続き、一部の事業所において「開催場別出馬表」を作

		<p>成</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 宝塚記念及び有馬記念において「ファン投票」を実施。有効投票件数はそれぞれ94,633件（前年比106.1%）、177,642件（123.5%） ◇ 全国の競馬場において、競走名にちなんだ各地域の物産展や競馬場所在地域の名産品店の出店や、食堂・売店利用促進クーポンの配布など様々な「食のイベント」を開催。また、札幌・函館・福島・新潟・中京・小倉の各競馬場において、食堂・売店を利用されるお客様へのサービス改善を目的としたアンケート調査を実施 ◇ 東京都市圏、大阪都市圏におけるメール配信による来場促進策『メールd eダービー』と、街頭での抽選券配布『ウインズd eダービー』を併せて実施したところ、リピート率が非常に高かったことから、ジャパンカップ及び有馬記念時には、街頭配布による『ウインズd eジャパンカップ』、『ウインズd e有馬記念』を実施 ◇ 中国四国地方（広島・高松・米子・小郡）における新規ファン獲得のため、有馬記念時に『メールd e有馬記念』を実施 ◇ 全ウインズ共通の「G I 前週告知ポスター（解説付き）」の作成・掲示等を通じ、当該G I 競走に対する期待感を醸成するとともに、参加・購買意欲を刺激
	<p>② 周辺観光地等との連携など付加価値の提供による来場きっかけ作り</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「さっぽろ雪まつり」、「さっぽろ大通ビアガーデン」等の観光イベントにおいて広報・プロモーション活動を行い、地元住民及び北海道旅行客への効果的なPR・露出を展開 ○ ウインズ近隣地域のお祭り等（博多どんたく、さぬき高松まつり、新橋こいち祭り他）本会施設外での各種イベントに積極的に出展し、中央競馬の認知度を向上 ○ 観光客の取込策として、ホテルでの指定席事前発売を実施して札幌競馬場への来場を誘導した他、ホテルや旅館へのポスターの掲出やチラシ設置、観光雑誌への広告掲載等を実施 ○ 競馬場周辺の飲食店に開催告知ポスターや告知ツール等を設置して競馬をPR ○ 福島市旅館ホテル協同組合や各温泉組合に働き掛け、土湯温泉観光協会のパンフレットや飯坂温泉オフィシャルサイト等への競馬に関する情報の掲載を実現 ○ 新潟市北区との連携により、観光イベント「キテ・ミテ・キタク」を新潟競馬場で実施 ○ 特別競走名にちなんだ自治体等に働きかけ、特産品の物産展、ゆるキャラ等による観光・産業紹介を実施。また、こうした活動を自治体の観光ブログ等で紹介してもらうとともに、競馬開催の告知ポスターやパンフレットの設置について各自治体と協力 ○ 富裕層、女性を始めとする新規のお客様を対象とした

		<p>競馬講座を銀行、カード会社、ホテルを運営する民間企業等の主催により実施（競馬教室・観戦会実施回数150回 《うち企業主催107回》参加人数約 4,000名）</p> <p>○ 企業とタイアップした各種イベントを、開催競馬場や一部ウインズにおいて実施</p> <p>○ 競馬場入場料を無料とする「フリーパスの日」を10競馬場で計11日間設定（うち、1日は京都競馬場におけるエリザベス女王杯当日（11月15日）の女性を対象としたフリーパスの日）（入場人員は前年あるいは前回の同内容開催日比較で109.9%）</p>
	（４）払戻率の設定	<p>○ 現行の払戻率（単勝 80%、複勝 80%、枠連 77.5%、馬連 77.5%、ワイド 77.5%、馬単 75%、3連複 75%、3連単 72.5%、WIN5 70%）設定後、1年を経過したことから、お客様の購買動向等を分析し、現在の率の継続を決定</p> <p>○ 引き続き、分析・検証を行い、必要に応じて払戻率を見直すことを確認</p>
	（５）京都競馬場開設90周年・新潟競馬場開設50周年事業	<p>○ 京都競馬場では開催日イベントの充実、90周年を記念した特別グッズの作成とお客様への配付のほか、記念事業として京都競馬場内において木下サーカスや京阪文化フォーラムを開催</p> <p>○ 新潟競馬場では開催日イベントの充実、50周年を記念した特別グッズの作成とお客様への配付、また「秋の感謝祭」（10月31日、11月1日）としてキャラクターショーや馬事イベントを実施</p>
（６）レース映像及びホームページ等のサービスの充実		
	① レース映像の充実	<p>○ よりわかりやすく迫力ある映像を提供することにより、お客様サービスを維持向上するため、GI競走当日を中心とした特定の日において、スーパースローカメラ、ヴァーチャルカメラ、車載カメラ等の特殊カメラを増設</p> <p>○ お客様に対し、より鮮明で迫力あるレース映像提供の維持向上を図るため、ターフビジョンの制御機器を更新（東京競馬場、京都競馬場、小倉競馬場）するとともに、映像ディスプレイ装置の制御機器を更新（京都競馬場、小倉競馬場、ウインズ津軽、ウインズ新白河）</p>
	② ホームページ等のサービスの充実	<p>○ JRAホームページには、1年間で約65.3億ページビュー（延べアクセス数。以下「PV」）と過去最高のアクセス（対前年比113.0%）。その内訳はパソコン版が約41.2億PV（同110.1%）、携帯版が約7.5億PV（同82.0%）、スマートフォン版（以下「スマホ版」）が約16.7億PV（同147.6%）。1日あたりの平均アクセス数は1,789万PVであり、1日あたりの最大アクセス数は有馬記念当日の約6,224万PV（パソコン版：4,224万PV、携帯版：547万PV、スマホ版：1,453万PV）</p>

<p>i) J R Aホームページのコンテンツの充実</p>	<p>○ 3月28日からパソコン版及びスマホ版のレース結果ページにおいて、全レースの映像提供を開始（従来は新馬、特別及び最終競走のみ）</p> <p>○ パソコン版において、前年のトップページリニューアルに続き、12月に2階層目以降のページのリニューアルを実施（各メニューのトップ、競馬場ページ及びレーシングカレンダーのデザイン変更等）。また、G I レース出走馬決定順及び金曜日以降の馬場の作業情報を新たに掲載。さらに、騎手データページに海外渡航騎手情報の項目を追加</p> <p>○ 5月に日本相撲協会とのコラボレーションサイト「日本スモウダービー」、11月に日本相撲協会及び人気ゲーム「ストリートファイター」とのコラボレーションサイト「ジャパンスモウカップ」、12月に絵本「ウォーリーをさがせ」とのコラボレーションサイト「有馬記念でさがせ！」をそれぞれ開設</p> <p>○ 秋季に凱旋門賞、天皇賞（秋）及び菊花賞に関する情報を集中的に掲載した特設サイトを開設。また、特定のG I 6レースについて映像や画像を盛り込んだスペシャル出馬表を掲載</p> <p>○ ドバイワールドカップ、日本ダービー、香港国際競走及び有馬記念では、「J R Aレーシングビューアー」や機関誌「優駿」とコラボレーションした特集サイトを開設</p>
<p>ii) メールマガジンの配信</p>	<p>○ 「J R A Mail News」をG I 競走が施行される週（定期）に加え、札幌競馬場でワールドオールスタージョッキーズが行われる週（号外）の合計23回配信</p> <p>※ 平成27年度末の登録者数：約101,000名</p>
<p>iii) SNS（ソーシャルネットワークサービス）を利用した展開</p>	<p>○ 競馬の話題喚起及び拡散を目的に、J R A公式Facebook ページで競馬やイベント等に関する話題を提供。また、お客様とのエンゲージメントを高めることを目的として、10月に「フォトコンテスト」を実施</p> <p>※ 平成27年度末の「いいね！」数：約169,000</p> <p>○ YouTube のJ R Aチャンネルでは、レース映像やCM素材等様々なジャンルの動画を掲載。なお、G I レースの動画については、平成27年分に加え、昭和59年から平成14年までの動画を新たに掲載</p> <p>※ 平成27年度末の登録者数：約39,000名</p>
<p>iv) 競馬への理解増進と接点創出を図るための新サイトの運営</p>	<p>○ 10月に競馬エンターテインメントサイト「U m a b i（うまび）」を開設。競馬を知らないユーザーも楽しめるw e b上の各種コンテンツを順次提供するとともに、各種S N Sを活用して拡散を促進</p> <p>※平成27年のサイト訪問者数：約1,303,000名</p>
<p>③ 指定席予約サービスの充実</p>	<p>○ 競馬場指定席の利用を促進するため、指定席のインターネット予約をすべての競馬場において利用可能とするとともに、インターネット予約を利用できる対象会員も拡大</p>

		○ 団体割引（中山・新潟・中京）や特定団体（愛馬会など）への開催単位の販売（中山・京都）などを実施するとともに、東京競馬場においては、一部の指定席を招待席として有効活用
--	--	--------------------------------------------------------------------------------------

6. 施設の改善及び整備

項目	内訳	具体的な内容
(1) お客様関連施設の改善及び整備		
	① ウインズ名古屋リニューアルオープン	<p>○ ウインズ名古屋は、昭和44年に建築されたものであり、老朽化が著しく、構造的安全面も現行の基準を満たしていないことから、より快適性を高め、安全確保にも配慮した施設とすべく改築</p> <p>○ ウインズ名古屋は、オーナー物件であり、オーナー側が施工する工事の進捗に応じて本会発注部分の工事を行うこととし、平成25年12月に着工、平成27年5月に竣工</p>
	② ウインズ横浜A館改築工事	<p>○ ウインズ横浜A館は、昭和41年に建築された物件に増改築を行い対処してきたものであり、老朽化が著しく、構造的安全面も現行の基準を満たしていないことから、より快適性を高め、安全確保にも配慮した施設とすべく改築を行うこととし、平成24年3月に着工。なお、ウインズ横浜B館が平成27年10月に賃貸借契約の期間満了を迎えることから、A館・B館を統合した新たなウインズ横浜とすべく、従来よりもお客様エリアを拡大し、平成27年12月にリニューアルオープンとしてお客様への提供を開始。平成28年3月に残りの外構部分を含めて完全竣工予定</p>
	③ 京都競馬場の整備	<p>○ 京都競馬場のスタンドのうちグランドスワンは昭和55年に建築されたものであり、耐震構造上、現在の基準を満たしていないことから、安全確保のため耐震改修を行うこととし、平成26年12月に着工、平成27年10月に竣工</p> <p>○ 京都競馬場の芝スタンドは昭和46年に建築されたものであり、老朽化が著しいことから、同スタンドを解体したうえで跡地一体をイベントスペース及びファミリーゾーンとして整備することとし、平成27年5月に着工、平成27年12月に竣工</p>
	④ 在席投票システム(i-Seat)の展開等	<p>○ インターネット投票の仕組みを利用した現金投票システム(i-Seat)について、平成26年にオープンした京都競馬場、ウインズ新横浜、中京競馬場に続き、1月に新潟競馬場、2月にウインズ名古屋、4月にウインズ梅田、8月に中山競馬場、9月に東京競馬場、11月にウインズ汐留、12月に阪神競馬場において運用を開始</p> <p>○ ウインズ名古屋にエクセルを新設するとともに、ウインズ広島及びウインズ汐留のエクセルフロアの仕様をグ</p>

		レードアップするなど快適なお客様環境の整備を推進
(2) 競走関連施設の改善及び整備		
① 美浦トレーニング・センター厩舎改築工事	○ 美浦トレーニング・センターは昭和53年に開場し、他の施設同様厩舎についても老朽化が進んでいるため、先行して設置したモデル厩舎の検証等を踏まえ改築工事を行うこととし、第1期工事を平成27年11月に着工、平成29年4月に竣工予定	
② 栗東トレーニング・センター調教スタンド改築工事	○ 調教スタンドは、昭和44年に建築されたものであり、老朽化が著しく、耐震構造上も現行の基準を満たしていないことから、安全確保のため改築工事を行うこととし、平成27年11月に着工、平成29年10月に竣工予定	
③ その他	○ JRA馬事公苑が、2020年東京オリンピック・パラリンピック大会の馬術競技(クロスカントリーを除く)の会場として活用されることとなったため、特別振興事業として施設の整備を行うこととし、平成27年10月1日に入札公告、12月に整備工事請負者を選定。工事は平成28年1月に着工し、平成32年3月に竣工する予定	

7. コンピュータ・システムに関する取組み

項目	内訳	具体的な内容
(1) システムの更新及び全体最適化		<p>○ 各システムの信頼性、安定性及び効率性の向上を図るために、以下のとおりシステムの更新等を行うとともに、円滑なデータ連携の実現等に向けて全体最適化を推進</p> <p>i) 平成27年に更新等を行い運用開始したシステム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員給与計算・人事管理システム(PMSⅢ)(1月) ・ 三井住友銀行向け即PATシステム(2月) ・ 開催従事員給与計算システム(EMS)(6月) ・ 競走馬情報管理システム(JARISⅢ)(6月) ・ 欧字提供システム(7月) ・ JRADBシステム(7月) ・ IPAT(Linux対応)システム(7月) ・ 8次トータリゼータセンタシステム(東センタ:8月、西センタ:9月) ・ 簡易オッズ提供システム(9月) ・ JRAホームページシステム(10月) ・ JRAネットシステム(10月) ・ 会計システム(OACS)・固定資産管理システム(KSK)(12月) ・ 第7次現金投票端末機(通年) ・ 新在席投票システム(通年) <p>ii) 平成27年に更新開発に着手したシステム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 競走馬情報管理システム(JARISⅢ)(1月) ・ 統合DBシステム(3月)

	<ul style="list-style-type: none"> ・ インフォメーションシステム（８月） ・ 開催従事員給与計算システム（EMS）（１０月） ・ J R A ネットシステム（１２月） ・ 即 P A T（統合機）システム（２月） ・ C l u b A－P A Tシステム（５月） ・ I P A Tシステム（６月） ・ J R Aダイレクトシステム（投票機能：７月、会員登録機能：１０月） <p>iii) 平成２７年以前に更新開発に着手したシステム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ８次現金投票システム（平成２６年１月）
(２) 情報セキュリティの確保	<p>○ 情報資産保護委員会を開催し（７月）、情報資産保護の現状と保護体制の整備の現状及び今後の方針について確認。また、各システムの更新及び新規導入に合わせて、情報資産管理台帳及びリスク管理シートを適宜更新するとともに、情報資産保護委員会の指名する「調査組織」による、情報セキュリティに関する調査・評価（１２月）を実施</p> <p>○ 情報セキュリティに関する知識・理解の定着のために、新規採用職員向け講習（４月）及びeラーニングを利用した全職員向け研修（９月）を実施</p> <p>○ 競馬開催に関連する各システムにおいて、ファイアウォール（FW）や不正侵入防御システム（IDS）等を適切に運用し、不正アクセスや情報漏洩等の起こらないセキュリティ体制を維持（通年）</p>

８．中央競馬事業の継続的な安定化を図るための取組み

具体的な内容
<p>○ 収益の向上と将来にわたる経費負担を抑制する取組みを継続的に実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 競走馬総合研究所本所（宇都宮）の機能を栃木支所に移転し、研究業務の集約を図るため、栃木支所の諸施設の整備を行うこととし、平成２６年８月に着工、平成２７年１２月に竣工 ・ ウインズ横浜Ｂ館については、お客様を新装なったウインズ横浜前期棟への確に誘導することにより、当初のスケジュールどおり６月２８日をもって円滑に営業を終了 ・ ウインズ佐世保については、収支の改善を目的として、エリアの整備工事を実施（６月～）し、１２月より縮小された新エリアにおいて発売を開始 ・ 警備関連経費、清掃関連経費、案内関連経費、光熱水経費等の削減を目的とし、標準発券枚数及びフロア混雑度にかかる各ウインズのデータを検証し、投票所従事員計画・端末更新計画等も考慮のうえ、１４ウインズでフロア等の縮減を実施 ・ ウインズにおいて、諸管理業務の内製化等による効率化を適宜実施 ・ I T V制作業務の中継車方式を全競馬場で展開

9. 事業運営に対する信頼性確保に関する取組み

項目	具体的な内容
(1) コンプライアンスに関する事	<ul style="list-style-type: none"> ○ コンプライアンス体制の一層の充実を図るため、役職員が日々守るべき基本的な行動基準を具体化した「コンプライアンス行動指針」の周知徹底に努め、その実践を推進 ○ 役職員に対し継続的にコンプライアンスに関する研修を実施するとともに、内部監査等によりコンプライアンス体制の現況について確認、点検し、適宜必要な見直しを実施 ○ 福島競馬場シニアカード会員の個人情報を記録したUSBメモリを紛失。当該USBメモリにはセキュリティ対策を講じており、内部データが流出する可能性は極めて低いものの、今後に向け、個人情報の取扱方針や職員への教育をはじめとする再発防止策を検討
(2) 情報公開に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律」に基づく開示請求はなし ○ 「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」に基づく開示請求はなし ○ 情報公開法の規定に基づき、JRAの経営内容等が掲載された文書について、引き続き、JRAホームページ等を活用して公開
(3) 契約・入札等に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ○ 契約の適正化に向けた不断の点検を行い、契約の一層の競争性・公正性の向上を推進 ○ 契約手続きの透明性を確保するため、工事の発注、物品の製造・購入及び役務に関する情報等について、JRAホームページに随時公開

10. 競馬の国際的な発展への取組み

項目	内訳	具体的な内容
(1) 競走を通じた国際交流の推進		
	① 国際交流競走への外国調教馬の参加実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 春季においては、高松宮記念に1頭、秋季においては、スプリンターズステークスに1頭の外国調教馬が出走 ○ ジャパン・オータムインターナショナルの競走では、ジャパンカップに4頭、チャンピオンズカップには香港から1頭の外国調教馬が出走
	② 国際競馬シリーズの振興	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国際交流競走の振興と世界規模でのスプリントチャンピオンを決定することを目的として、イギリスのアスコットオーソリティとニューマーケットレースコースーズトラスト、オーストラリアのレーシングヴィクトリアリミテッド、アラブ首長国連邦のドバイレーシングクラブ、香港ジョッキークラブ及びシンガポールターフクラブの各主催者と提携し、「グローバルスプリントチャレンジ」（全10戦）を実施し、日本ではシリーズの第3戦（高

		松宮記念)、第8戦(スプリンターズステークス)を施行
	③ 外国の競走への中央競馬所属馬の参加実績	○ 外国の競走への中央競馬所属馬の出走を支援し、延べ34頭がイギリス、アラブ首長国連邦、オーストラリア、シンガポール、香港及び韓国の競走に出走。エイシンヒカリが香港カップに、モーリスが香港マイルに、リアルインパクトがオーストラリアのジョージライダーステークスに、エスメラルディーナが韓国のトゥクソムカップにそれぞれ勝利
	④ 交換競走の実施等	○ 諸外国との交流の一環として、アメリカ、イギリス、アイルランド、ドイツ、アルゼンチン、ブラジル、ニュージーランド、オーストラリア、韓国、香港、サウジアラビアとの交換競走を実施 ○ アジアウィーク(マレーシア、シンガポール、タイ、インド、フィリピン、マカオとの交換競走)を7月に中京競馬場において実施
(2) 日本の競馬産業の振興に向けた国際的な取組み		
	① 日本の競馬情報の海外配信	○ 世界における日本競馬の認知度を高めるために、GI競走を中心としたレース映像を世界10カ国に配信 ○ JRA外国語ホームページ(英・仏・中・韓)を活用して、積極的かつタイムリーに日本の競馬情報を提供。また、海外の利用者からの要望を受け、出馬表及びレース結果ページの馬名から各競走馬情報ページにリンクするよう改善し、利便性の向上を推進
	② 外国人顧客の誘致	○ 中国からのお客様誘致では、旅行会社とのタイアップによる観光客向け競馬観戦ツアーを実施したほか、新たな取組みとして中国版SNSやウェブニュースに日本の競馬情報を発信 ○ 在日外国人向けにSNSやフリーペーパーで募集した競馬観戦イベントを実施
	③ 国内生産馬の販路拡大	○ 国内生産馬の海外への販路拡大の支援については、日本の生産者団体等と連携し、人材・技術交流を通じて、日本産馬輸出体制づくりを支援
	(3) 海外の競馬開催国との連携	○ アジア競馬連盟(ARF)ならびに国際競馬統括機関連盟(IFHA)執行協議会の常任理事国として、国際会議や海外主要競走視察等の場において、各国代表者との意見交換及び交流を実施 ○ 各諮問委員会における課題を審議し解決するため、本会代表者を参画させ、国際競馬の発展、国際協調の維持ならびに日本競馬の国際的地位の向上に寄与
(4) アジアにおける競馬の発展への取組み		
	① 中国との関係	○ 中国本土の馬産業事情の調査を実施するとともに、中国の馬産業関係者等の日本招聘、日本の競馬関連技術者の派遣等による指導を実施 ○ 馬産業関係者間の協力関係が進展した結果、中国本土への日本産馬の輸出が再開

② A R F 研修の実施	○ アジア競馬連盟加盟国の開催執務員を対象としたA R F 定期研修（６月）及び専門研修（９月）を実施
---------------	-----------------------------------------------------

１１．社会活動への取組み

項目	内訳	具体的な内容
（１）地域社会への貢献		
	① 地域社会との連携協調	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「くらやみまつり（５月３日大国魂神社）」や「麻布十番納涼まつり（８月２２・２３日）」等、地域の祭りや本部・事業所周辺の団体が主催する多くの催しに、人馬を派遣するなどの協力を実施 ○ 事業所周辺の学校教育機関等において、ポニーとのふれあい活動を展開するなど、「馬」を活用した地域密着型の協力を実施
	② 防災体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○ 関係法令に則り、事業所毎に各防災計画・マニュアルの整備及び職員他関係者への周知を徹底し、関係者の防災意識の向上を促進 ○ 大規模災害発生時の対策として、主に広域避難場所として指定されている競馬場においては、有事に備えて帰宅困難となった来場者及び周辺住民の避難を想定し配備している防災備蓄品を適切に管理。また、都市部ウインズにおいても、来場者が帰宅困難となった場合を想定し、配備している防災備蓄品を適切に管理
	③ 競馬場・ウインズ等の交通対策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 競馬開催日の交通対策として、周辺環境に配慮し来場車両を抑制するため、お客様に公共交通機関の利用の呼びかけを実施 ○ 周辺道路の混雑及び渋滞の要因ともなる違法駐車を排除するため、警備ポストを配置する等の対策を実施
	④ 環境整備の実施	<ul style="list-style-type: none"> ○ 競馬場・ウインズ等が所在する合計３９の地方自治体に対して、総額５３．８億円の環境整備事業費を交付し、事業所周辺の環境整備事業を実施 ○ 平成２７年度においては、道路整備事業、教育・社会福祉施設整備事業、下水道整備事業等をはじめとする合計３１４の事業を実施
（２）乗馬普及・馬術の振興及び馬事文化の発展等に関する取組み		
	① 乗馬の普及	<ul style="list-style-type: none"> ○ 馬事公苑及び各事業所において、一般市民やスポーツ少年団を対象とする乗馬指導、初心者を対象とする乗馬教室を実施 ○ 乗馬に取り組む子供たちの目標となる大会として、全国ポニー競馬選手権「第７回ジョッキーベイビーズ」を実施（全国７地区の予選会で８名の選手を選出し、決勝戦を１０月１１日に東京競馬場で実施） ○ 馬と直接触れ合う機会を拡充するため、全国の事業所において、「馬に親しむ日」や「愛馬の日」をはじめとする馬事イベントを開催

		<ul style="list-style-type: none"> ○ 競馬開催日に、「体験乗馬・馬車」「誘導馬によるお出迎え・お見送り」「ポニーとのふれあい」を実施 ○ 乗馬人口の拡大を図るため、(公社)全国乗馬倶楽部振興協会、(公財)三木山人と馬とのふれあいの森協会が実施する乗馬普及事業に対して助成 ○ 子供の頃から馬への理解を深めて興味を持ってもらうため、事業所から馬を連れて小学校に出向き、総合的な学習の時間を利用して授業を行う「小学校出張授業」を実施
	② 馬術の振興	<ul style="list-style-type: none"> ○ 馬事公苑馬術大会「JRAホースショー」等の競技会を主催 ○ 「近代五種全日本選手権大会」等の競技会に施設を貸与 ○ 学生を含めた馬術関係者の馬術に関する知識・技術の向上を図るため、馬事公苑において各種講習会を開催 ○ 事業所周辺の学生馬術部及び乗馬クラブに対して、直接的な技術指導を実施 ○ 馬を取り扱う担当職員の技術向上を目的とし、馬事公苑及び各事業所において、馬事公苑の馬術競技専門職員による乗馬技術や競走馬の再調教技術に関する各種講習会を実施 ○ わが国の馬術の振興を図るため、(公社)日本馬術連盟が実施する馬術振興事業に対して助成
	③ 馬事文化の発展への寄与	
	i) 「馬の博物館」及び「競馬博物館」	<ul style="list-style-type: none"> ○ 馬の博物館では、馬と人との交流によって生まれた様々な文物を常設展示し、また、特別展として「歴史コミックと馬」、企画展として「山本容子展～旅する馬たち～」などを実施 ○ 競馬博物館では、春季特別展として「名手と優駿たち～騎手と馬の絆～」、秋季特別展として「創設60回 有馬記念展」をそれぞれ実施。また、10月の東京競馬からリニューアルオープンした「馬の学び舎 ミュージアムホール」において、馬事文化紹介映像の放映やトークショーなどを実施。なお、春季特別展「名手と優駿たち～騎手と馬の絆～」については、阪神競馬場で12月12日から平成28年1月24日まで移動展を実施 ○ 「Gate. J」(新橋・梅田)では、「GIレース展望」「草野仁ゲート J プラス (グリーンチャンネル公開収録)」などを実施
	ii) JRA賞馬事文化賞	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成27年度のJRA賞馬事文化賞は、東北・北海道を舞台に、馬とかかわる数奇な運命を持つ家族の、明治から平成まで6世代の歩みを描いた河崎秋子氏著作の「颯風の王」が受賞

	iii) 馬事伝統文化の保存	<ul style="list-style-type: none"> ○ 馬事文化の発展に寄与するため、競馬場等において、各地に伝承されている伝統馬事芸能を披露 ○ (公社) 日本馬事協会が行う日本在来馬 8 種の保存活用推進事業に対して助成
(3) 環境への取組み		
	① リサイクルに関する取組み	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成 20 年度より排出物対策の柱として取り組んでいる「RAP90」(リサイクル・アクション・プログラム・90: 排出物のリサイクル率を 90%以上とすることを目標とした取組み)に基づき、排出物の個別項目毎のリサイクル率の向上を目指した取組みを実施 ○ なかでも競馬開催に関する排出物について、平成 27 年度よりリサイクル率の目標を 50%と設定し、各事業所のリサイクル実態調査を実施 ○ この結果、平成 27 年度のリサイクル率は、全体: 91.7%(前年 91.5%)、競馬開催に関する排出物:50.2%(前年 47.8%)
	② 温室効果ガス排出対策に関する取組み	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各事業所のエネルギー使用量を基に CO2 の排出量を算定し把握するとともに、その排出抑制を目的に策定した「総量削減」と「原単位削減」の複合目標を達成するために、全事業所において省エネルギー推進体制を構築 ○ 電力需要が高い夏季及び冬季においては、別途「節電対策」を作成し、関係団体を含む全事業所において重点的に取組みを実施 ○ 平成 27 年度の CO2 総排出量は 105,712 t-CO2/年(対前年比 97.4%)、原単位は 0.0235kl/m²(対前年比 97.8%) ○ 競馬学校、東京競馬場及び中山競馬場において、温室効果ガス排出抑制効果が高く、電力の効率化に資する「太陽光発電システム」を運用中
(4) 特別振興事業等		
	① 競馬振興事業	○ 平成 26 年 12 月に農林水産大臣の認可を得て、事業を実施(別表 12)
	② 畜産振興事業	○ 3 月に農林水産大臣の認可を得て、交付金を交付(別表 12)
	③ 払戻金への上乗せ	○ 1 号給付金として 23 億 3,471 万 4,270 円、2 号給付金として 18 億 5,705 万 920 円、合計 41 億 9,176 万 5,190 円を払戻金に上乗せ
	④ 競走馬生産振興業務への交付	○ 地方競馬全国協会が行う、軽種馬流通促進・経営基盤強化対策等の「競走馬生産振興業務」に対し、13 億 5,000 万円を交付
	⑤ 認定競馬活性化計画補助業務への交付	○ 地方競馬全国協会が行う、認定都道府県等に対する「認定競馬活性化計画補助業務」について、10 億 2,929 万 2,700 円を交付

＜別表目次＞

○ 別表 1（開催競馬場別開催実績）	P 29
○ 別表 2（平成 2 7 年度の各種実績）	P 30
○ 別表 3（開催回数の推移）	P 31
○ 別表 4（開催日数及び競走回数の推移）	P 31
○ 別表 5（出走頭数の推移）	P 31
○ 別表 6（お客様総数及び開催競馬場入場人員の推移）	P 32
○ 別表 7（発売金の推移）	P 32
○ 別表 8（電話・インターネット投票会員数の推移）	P 33
○ 別表 9（投票法毎の発売金の構成比の推移）	P 33
○ 別表 1 0（馬主・調教師・騎手・調教助手・厩務員数の推移）	P 34
○ 別表 1 1（国際競走等の状況）	P 35
○ 別表 1 2（特別振興事業について）	P 36
○ 別表 1 3（J R A 賞 受賞馬及び受賞者）	P 42

【別表1】

1. 開催競馬場別開催実績

	回数	日数	競走回数	出走延頭数	入場人員	発売金額
札幌	2回	12日	144競走	1,864頭	211,794名	67,197,390,500円
函館	2	12	144	1,847	78,789	61,859,570,300
福島	3	20	240	3,513	233,286	113,815,529,100
新潟	3	24	288	4,239	311,080	152,554,414,300
中山	5	42	503	7,486	1,145,431	473,787,776,900
東京	5	46	551	8,277	1,810,616	566,088,912,100
中京	4	24	288	4,352	377,504	162,168,507,900
京都	5	47	564	7,724	1,116,056	467,745,273,800
阪神	5	41	492	7,019	829,071	413,467,625,900
小倉	2	20	240	3,501	203,446	110,006,861,300
計	36	288	3,454	49,822	6,317,073	2,588,691,862,100

2. 競走成績

サラブレッド系	競走回数				出走延頭数	出走実頭数	1競走平均出走頭数
	一般競走	特別競走	重賞競走	合計			
2歳	557回	45回	14回	616回	8,359頭	3,097頭	13.6頭
3歳以上	1,860	738	112	2,710	39,881	7,794	14.7
障害	110	8	10	128	1,582	509	12.4
合計	2,527	791	136	3,454	49,822	※11,126	14.4

※ 平地競走と障害競走の両方に出走した馬の数は、274頭。

◎ 平成 27 年度の各種実績

①開催回数・開催日数	36 回・288 日
②競走回数	3,454 競走（前年実績 3,451 競走）
③出走延頭数	49,822 頭（前年実績 50,144 頭）
④勝馬投票券の発売金	2 兆 5,886 億 9,186 万 2,100 円（対前年比 103.6%）
⑤開催競馬場の入場人員	631 万 7,073 名（対前年比 102.8%）※ ¹
⑥お客様総数※ ²	1 億 6,585 万 9,812 名（対前年比 101.3%）

※¹うち女性入場人員は 99 万 9,113 名（対前年比 104.2%）。全体比 15.8%。

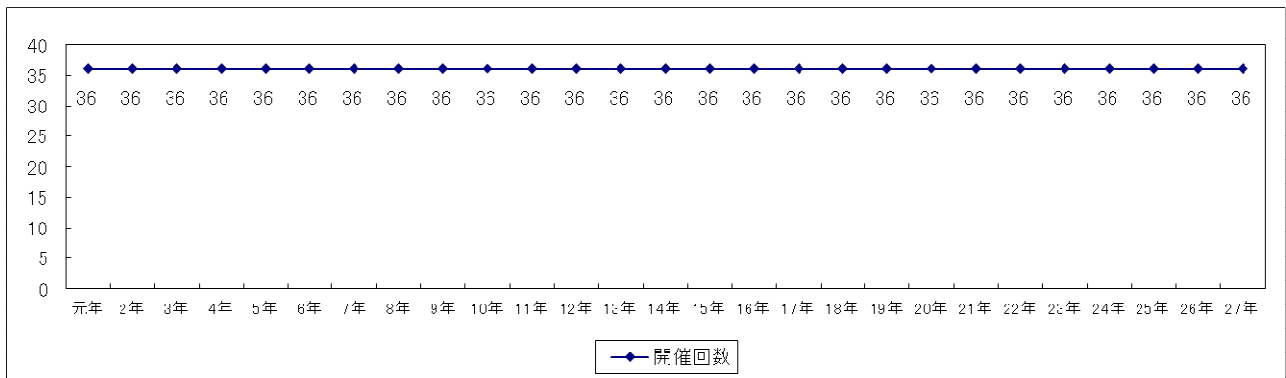
※²開催競馬場の入場人員にパークウインズ(6,573,900 名)、場外発売所(47,574,461 名)、電話・インターネット投票(105,394,378 名)の利用者数を加えたもの。

〔発売金〕

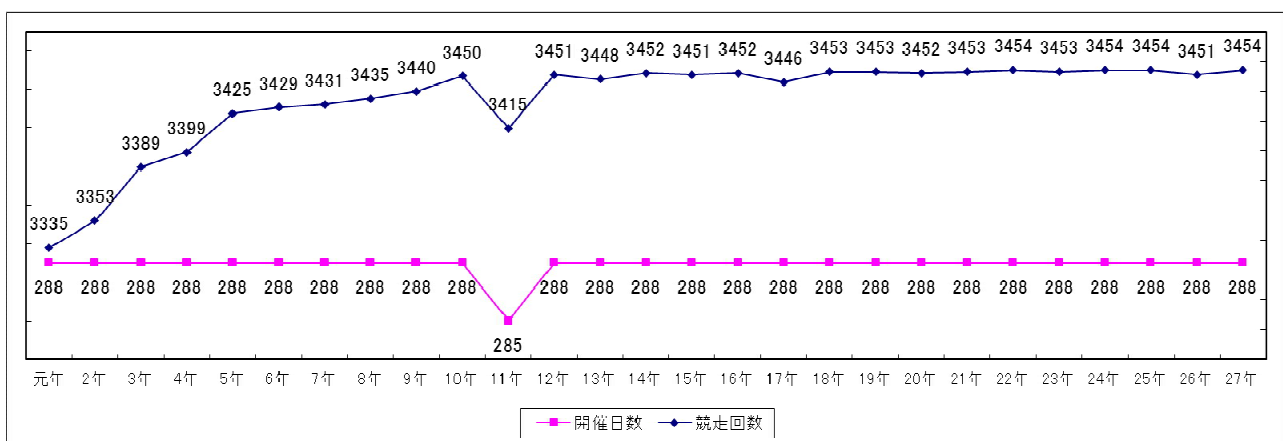
		対前年比	構成比(前年)
発売金総額	2 兆 5,886 億 9,186 万 2,100 円	103.6%	—
(内訳)			
開催場における自場分	918 億 7,568 万 9,500 円	99.2%	3.5%(3.7%)
〃 他場分	576 億 1,227 万 1,300 円	102.6%	2.2%(2.2%)
パークウインズ	1,448 億 7,709 万 4,900 円	92.8%	5.6%(6.2%)
場外発売所	6,564 億 8,452 万 2,100 円	101.4%	25.4%(25.9%)
電話・インターネット投票	1 兆 6,378 億 4,228 万 4,300 円	105.8%	63.3%(61.9%)

- ・ 10 競馬場、38 場外発売所、盛岡・水沢・佐賀の地方競馬場及び電話投票において勝馬投票券発売業務を実施。なお、ウインズ荒尾は 1 月 5 日に営業を終了したが、同地区では B A O O 荒尾に勝馬投票券発売業務を委託して営業を継続。
- ・ ウインズ浦和・ウインズ川崎・ウインズ三本木を含む 46 地方競馬施設に勝馬投票券発売業務を委託（J - P L A C E 札幌駅前は 3 月 31 日で閉鎖）。
- ・ 発売金（W I N 5 を除く）に占める重賞競走の割合は 30.6%（前年実績 30.2%）、G I 競走の割合は 14.4%（前年実績 14.3%）。
- ・ G I 競走の発売金は対前年比 104.2%となり、前年実績を上回った競走は、全 22 競走中 16 競走。

【別表 3】開催回数の推移（平成元年以降）

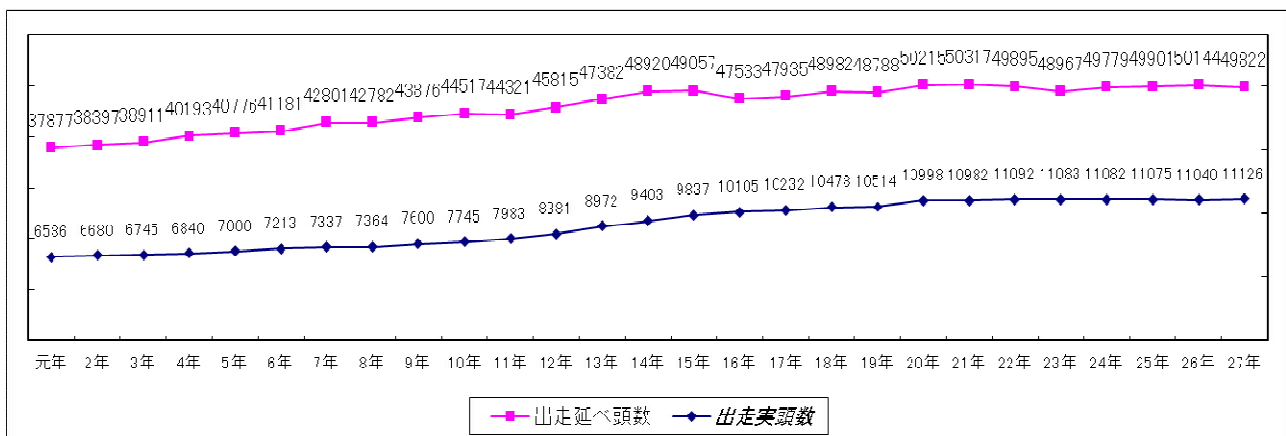


【別表 4】開催日数及び競走回数の推移（平成元年以降）

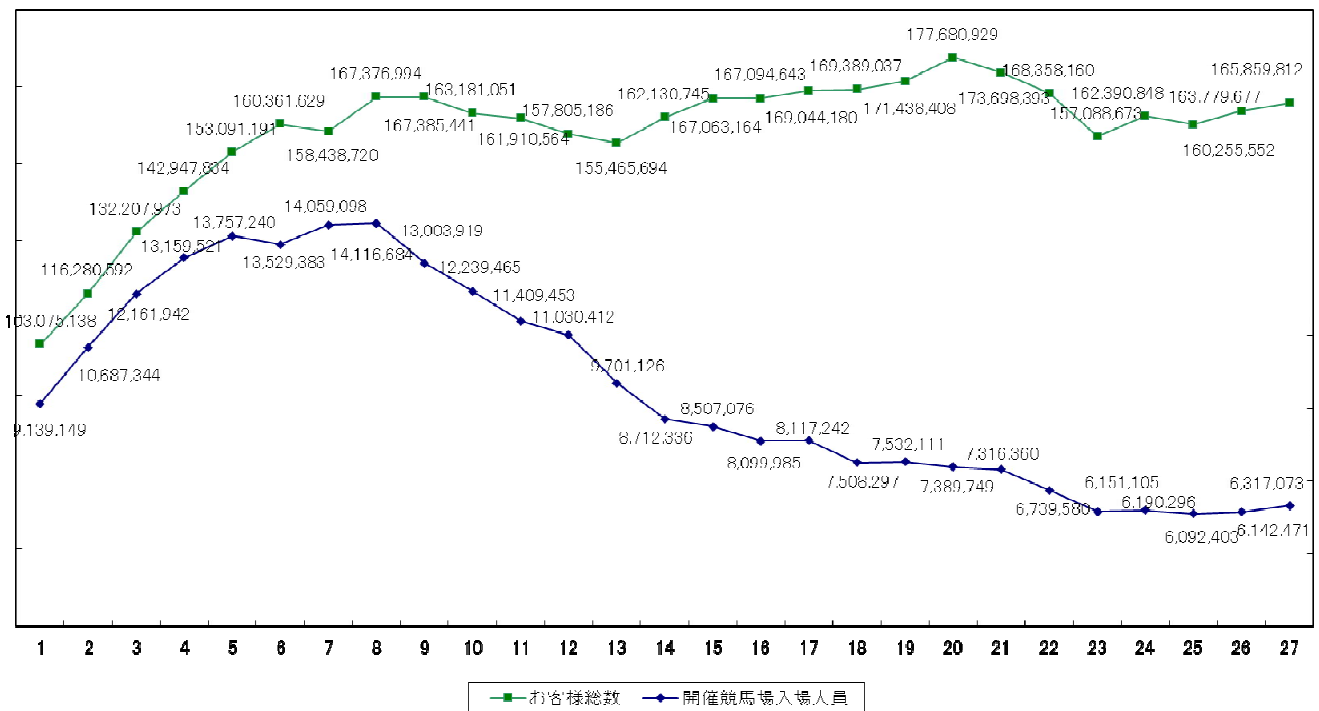


注）平成 11 年：厩務員春闘の影響により 3 回中山第 3 日、2 回阪神第 3 日、2 回中京第 3 日を取止め

【別表 5】出走頭数の推移（平成元年以降）

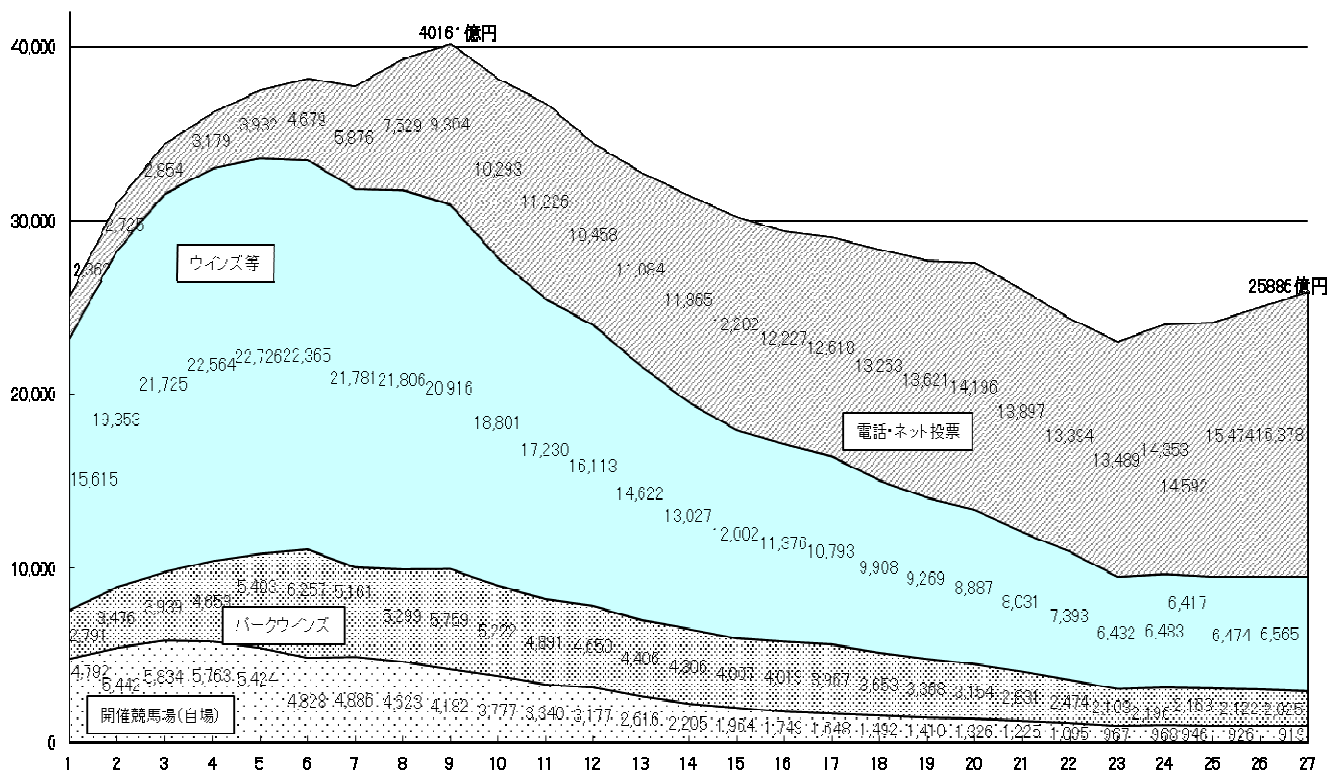


【別表 6】お客様総数及び開催競馬場入場人員の推移

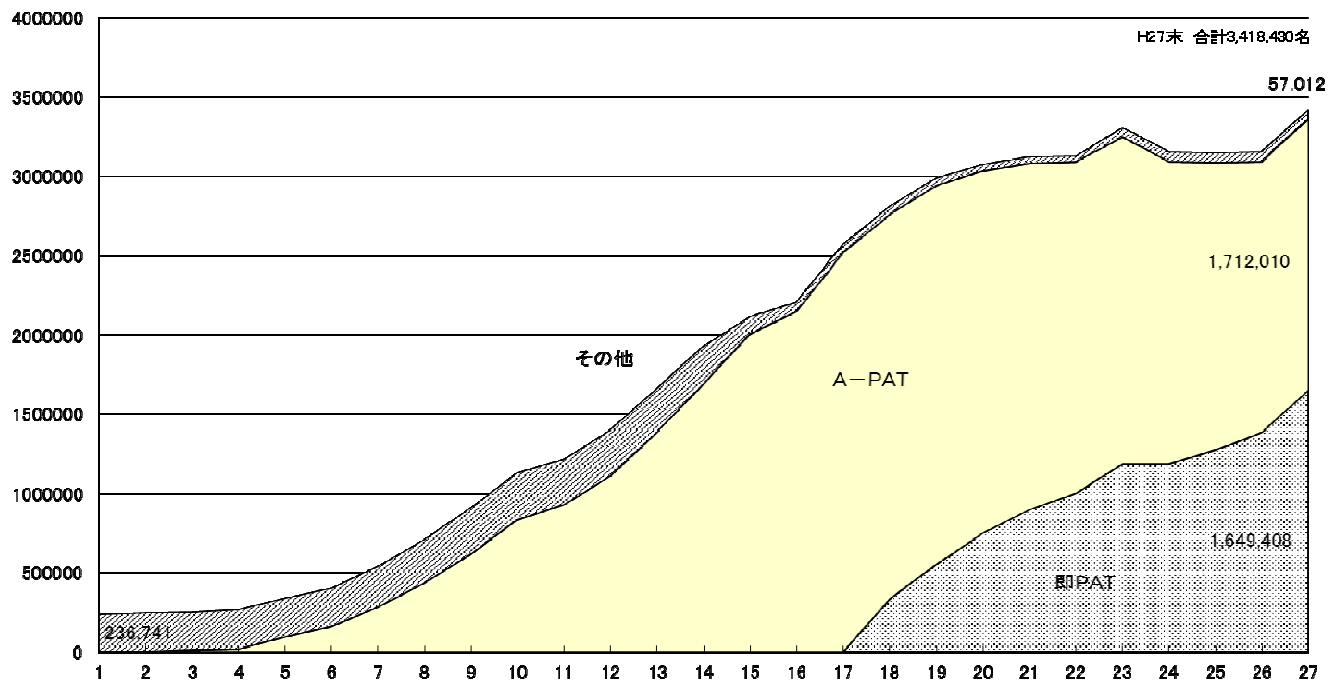


【別表 7】発売金の推移

○ 発売金の推移(単位:億円)



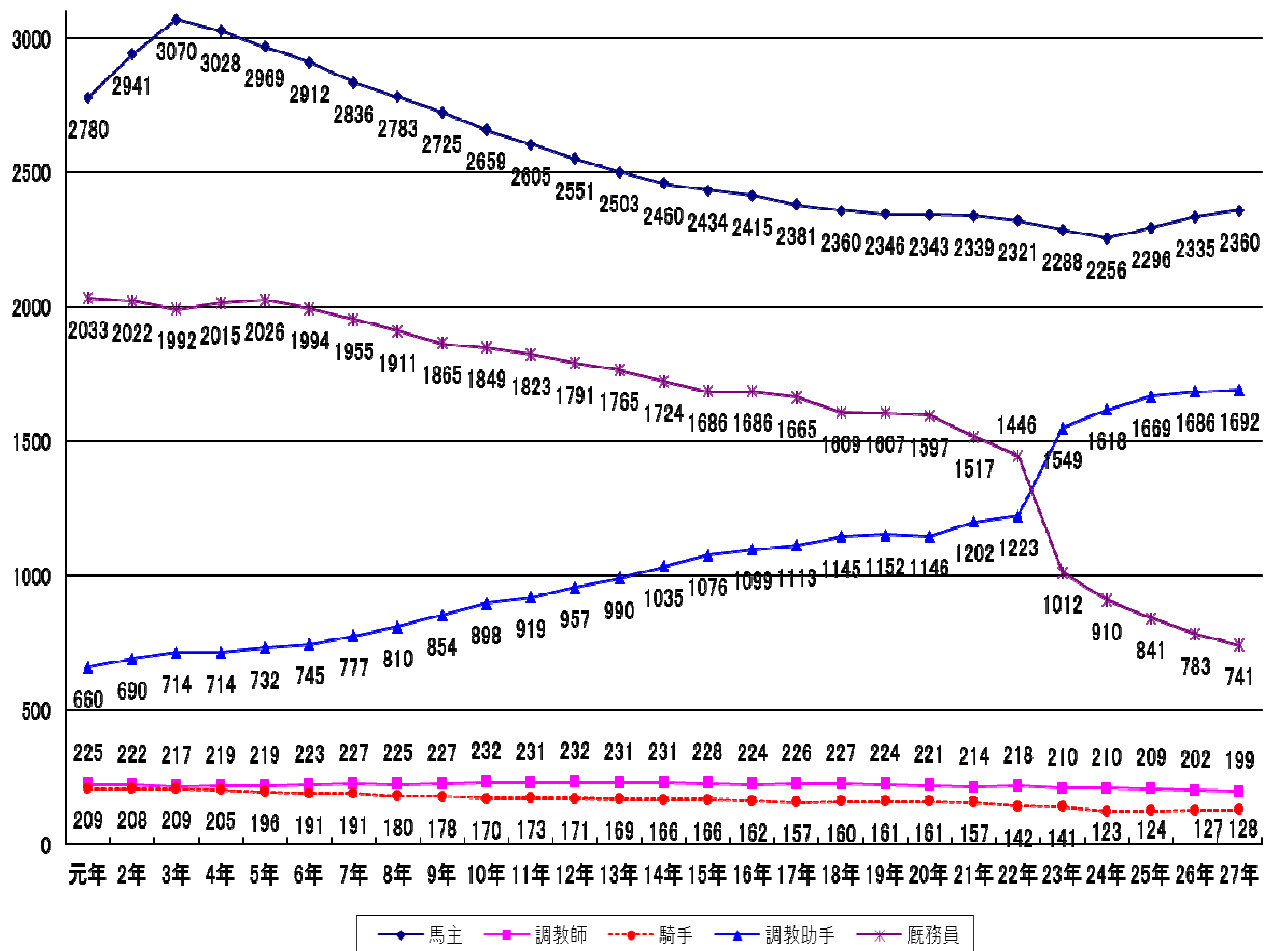
【別表 8】 電話・インターネット投票会員数の推移（平成元年以降）



【別表 9】 投票法毎の発売金の構成比（％）の推移（平成元年以降）

	単勝	複勝	枠連	馬連	ワイド	馬単	3連複	3連単	WIN5
平成元年	2.8	2.2	94.9	-	-	-	-	-	-
2年	2.8	2.2	95.0	-	-	-	-	-	-
3年	2.9	2.3	81.3	13.5	-	-	-	-	-
4年	2.7	2.3	35.4	59.6	-	-	-	-	-
5年	2.8	2.5	26.6	68.1	-	-	-	-	-
6年	2.7	2.6	22.9	71.8	-	-	-	-	-
7年	2.6	2.6	19.9	74.9	-	-	-	-	-
8年	2.6	2.6	17.8	77.0	-	-	-	-	-
9年	2.8	2.8	16.4	78.0	-	-	-	-	-
10年	3.1	2.9	15.1	78.9	-	-	-	-	-
11年	3.1	3.0	12.9	79.3	1.7	-	-	-	-
12年	3.0	2.4	10.9	70.5	13.2	-	-	-	-
13年	3.1	2.4	9.9	70.4	14.2	-	-	-	-
14年	2.8	2.4	8.3	54.7	10.8	10.9	10.1	-	-
15年	2.7	2.5	6.4	34.2	5.8	24.1	24.3	-	-
16年	2.9	2.7	5.8	28.2	4.9	22.0	25.5	8.0	-
17年	3.1	3.3	4.7	21.1	4.2	17.2	19.3	27.1	-
18年	3.4	4.0	4.8	19.6	4.4	15.7	19.4	28.7	-
19年	3.8	4.2	4.6	18.6	4.4	14.5	20.1	29.8	-
20年	3.7	5.1	4.3	17.1	4.3	12.4	19.2	33.9	-
21年	3.9	5.9	4.0	15.6	4.5	10.4	18.0	37.7	-
22年	4.2	6.4	3.8	15.1	4.8	9.8	18.7	37.3	-
23年	4.5	7.2	3.5	14.3	5.1	9.1	18.1	36.2	2.0
24年	4.7	7.6	3.6	13.9	5.4	8.7	18.2	35.8	2.1
25年	5.0	8.3	3.5	13.6	5.5	8.5	18.2	35.6	1.8
26年	5.3	8.6	3.5	14.3	6.0	7.9	18.6	34.2	1.5
27年	5.5	7.7	3.6	15.1	6.8	7.6	19.6	32.7	1.4

【別表 10】馬主・調教師・騎手・調教助手・厩務員数の推移（平成元年以降）



【別表 11】国際競走等の状況

(1) J R A所属馬の海外遠征状況

出走月日	開催国	競走名(グレード)	距離	馬名	騎手名	調教師名	着順 / 出走頭数
3月21日	オーストラリア	ランヴェットステークス(G1)	芝・2000	トーセンスターダム	T. ベリー	池江 泰寿	2 / 7
3月21日	オーストラリア	ジョージライダーステークス(G1)	芝・1500	リアルインパクト	J. マクドナルド	堀 宣行	1 / 14
3月21日	オーストラリア	ジョージライダーステークス(G1)	芝・1500	ワールドエース	N. ホール	池江 泰寿	11 / 14
3月28日	オーストラリア	ザBMW(G1)	芝・2400	トゥザワールド	N. ホール	池江 泰寿	2 / 11
3月28日	ドバイ	UAEダービー(G2)	ダート・1900	ゴールデンパローズ	R. ムーア	堀 宣行	3 / 10
3月28日	ドバイ	UAEダービー(G2)	ダート・1900	タップザット	J. モレイラ	池江 泰寿	5 / 10
3月28日	ドバイ	UAEダービー(G2)	ダート・1900	ディアドムス	三浦 皇成	高橋 裕	8 / 10
3月28日	ドバイ	ドバイシーマクラシック(G1)	芝・2410	ワンアンドオンリー	C. デムーロ	橋口 弘次郎	3 / 9
3月28日	ドバイ	ドバイシーマクラシック(G1)	芝・2410	ハーブスター	R. ムーア	松田 博資	8 / 9
3月28日	ドバイ	ドバイワールドカップ(G1)	ダート・2000	ホッコータルマエ	幸 英明	西浦 勝一	5 / 9
3月28日	ドバイ	ドバイワールドカップ(G1)	ダート・2000	エピファネイア	C. スミヨン	角居 勝彦	9 / 9
4月6日	オーストラリア	ドンカスターマイル(G1)	芝・1600	リアルインパクト	J. マクドナルド	堀 宣行	2 / 20
4月6日	オーストラリア	ドンカスターマイル(G1)	芝・1600	ワールドエース	N. ホール	池江 泰寿	8 / 20
4月11日	オーストラリア	ロンジンクイーンエリザベスステークス(G1)	芝・2000	トーセンスターダム	T. ベリー	池江 泰寿	5 / 12
4月11日	オーストラリア	ロンジンクイーンエリザベスステークス(G1)	芝・2000	トゥザワールド	Z. パートン	池江 泰寿	12 / 12
4月26日	香港	オーデマ・ピゲ・クイーン・エリザベスII世カップ(G1)	芝・2000	ステファノス	福永 祐一	藤原 英昭	2 / 12
5月17日	シンガポール	シンガポールエアラインズインターナショナルカップ(G1)	芝・2000	マイネルフロスト	松岡 正海	高木 登	4 / 11
6月7日	韓国	トゥクソムカップ(韓国G3)	ダート・1400	エスメラルディーナ	藤井 勘一郎	斎藤 誠	1 / 12
6月17日	イギリス	プリンスオブウェールズステークス(G1)	芝・約2000	スピルバーク	C. スミヨン	藤沢 和雄	6 / 9
6月20日	イギリス	ウォルファートンハンデキャップステークス(リステッド)	芝・約2000	スーパームーン	C. デムーロ	藤沢 和雄	10 / 13
10月17日	オーストラリア	コーフィールドカップ(G1)	芝・2400	フェイムゲーム	Z. パートン	宗像 義忠	6 / 18
10月17日	オーストラリア	コーフィールドカップ(G1)	芝・2400	ホッコーブレイヴ	C. ウィリアムズ	松永 康利	10 / 18
11月3日	オーストラリア	メルボルンカップ(G1)	芝・3200	フェイムゲーム	Z. パートン	宗像 義忠	13 / 24
11月3日	オーストラリア	メルボルンカップ(G1)	芝・3200	ホッコーブレイヴ	C. ウィリアムズ	松永 康利	17 / 24
12月13日	香港	ロンジン香港スプリント(G1)	芝・1200	ミッキーアイル	浜中 俊	音無 秀孝	7 / 13
12月13日	香港	ロンジン香港スプリント(G1)	芝・1200	ストレイトガール	戸崎 圭太	藤原 英昭	9 / 13
12月13日	香港	ロンジン香港スプリント(G1)	芝・1200	サクラゴスベル	Z. パートン	尾関 知人	12 / 13
12月13日	香港	ロンジン香港マイル(G1)	芝・1600	モーリス	R. ムーア	堀 宣行	1 / 14
12月13日	香港	ロンジン香港マイル(G1)	芝・1600	ダノンブラチナ	蛸名 正義	国枝 栄	7 / 14
12月13日	香港	ロンジン香港マイル(G1)	芝・1600	フィエロ	M. デムーロ	藤原 英昭	9 / 14
12月13日	香港	ロンジン香港カップ(G1)	芝・2000	エイシンヒカリ	武 豊	坂口 正則	1 / 13
12月13日	香港	ロンジン香港カップ(G1)	芝・2000	ヌーヴォレコルト	R. ムーア	斎藤 誠	2 / 13
12月13日	香港	ロンジン香港カップ(G1)	芝・2000	ステファノス	戸崎 圭太	藤原 英昭	10 / 13
12月13日	香港	ロンジン香港カップ(G1)	芝・2000	サトノアラジン	J. マクドナルド	池江 泰寿	11 / 13

(2) 外国馬の J R A 競走への出走状況

競走名	馬名	性	年齢	所属国	着順
高松宮記念 (G I)	エアロヴェロシティ	せん	7歳	香	1着
スプリンターズS (G I)	リッチタベストリー	せん	7歳	香	6着
ジャパンカップ (G I)	イラブト	牡	3歳	仏	6着
	ナイトフラワー	牝	3歳	独	11着
	トリップトゥパリ	せん	4歳	英	14着
	イトウ	牡	4歳	独	18着
チャンピオンズカップ (G I)	ガンビット	せん	5歳	香	16着

【別表 12】

◎ 特別振興事業について

① 競馬振興事業（平成 27 年度）

【J R A 直接実施事業】

事業名	事業内容	実施額
1. 京阪淀駅高架化に伴う周辺整備事業	京都競馬場仮設駐輪場の原状復旧工事	12,330,457
2. 競馬理解増進総合事業 (競馬場誘引型) (催事型) (メディア活用型) (馬事紹介型)	<ul style="list-style-type: none"> ・競馬場への来場を誘引するための催事の実施 ・競馬未経験層を主な対象としたキャンペーンや「ホースパーク」パビリオンをキッザニア甲子園にオープンするといった催事等の実施 ・メディア等を用いた競馬未経験者への理解増進 ・馬を活用した催事の実施 	2,338,451,198
3. 競馬博物館施設改修事業	競馬博物館の施設改修	114,285,600
4. 馬事文化紹介映像制作事業	伝統馬事芸能や在来馬を紹介する映像資料の制作	49,993,200
5. 国際競馬振興事業	国際競馬シリーズの運営、アジア競馬振興関連経費等	22,804,053
6. 海外競馬を活用した競馬理解醸成のためのシステム開発事業	海外競馬を活用した擬似投票システムのソフト開発	1,076,850,000
7. 海外競馬紹介事業	海外競馬に関する番組制作や情報提供等	122,996,160
合 計		3,737,710,668

【助成事業】

事業名	事業実施主体	事業内容	交付額
1. 国際馬術基盤強化推進支援事業	(公社)日本馬術連盟	F E I 公認国際大会や世界選手権代表選考会の開催等	59,279,000
2. 引退名馬繋養展示事業	(公財)ジャパン・スタッドブック・インターナショナル	競馬の発展に貢献した名馬とのふれあい創出、名馬の余生の環境作り	47,778,000
3. 競走馬マイクロチップ埋込推進事業	(公財)ジャパン・スタッドブック・インターナショナル	マイクロチップ埋め込み馬に対する経費の一部補助	12,960,000
4. 競馬技術交流促進事業	(公財)ジャパン・スタッドブック・インターナショナル	中国競馬事情の調査や、中国競馬発展のための事業を実施	21,000,000
5. 三木山馬事施設等整備事	(公財)三木山人と馬	三木ホースランドパークの国際厩	74,924,745

業（国際厩舎）	とのふれあいの森協会	舎改修	
6. 海外への日本競馬情報発信事業	（公財）ジャパン・スタッドブック・インターナショナル	海外への映像提供、サイト等を通じた海外への日本の競馬情報発信等	88,000,000
7. 地方競馬振興促進事業	各地方競馬主催者等	地方競馬場、発売施設の整備等	402,561,360
8. 競走馬理化学研究所における薬物検査体制の国際標準化事業	（公財）競走馬理化学研究所	競走馬理化学研究所の薬物検査体制を国際標準化	450,000,000
合 計			1,156,503,105

②畜産振興事業（平成27年度）

事業名	事業実施主体	事業内容	交付決定額 （千円）
1. 被災地産畜産物に関する情報提供・理解醸成事業	（公財）日本食肉消費総合センター 全国食肉事業協同組合連合会 国立大学法人東京大学	東日本大震災の影響を受けた地域の畜産物の消費回復を支援するため、被災地の畜産物に係る理解醸成等を図る事業。	84,265
2. 乗馬等を通じた被災地支援（馬とのふれあい）事業	（公社）全国乗馬倶楽部振興協会	被災地の子供及び家族を明るく元気にし、心身の健全な発展に寄与するため、震災等で被災した学童等を対象とした馬を活用したふれあい活動等を行う事業。	17,735
3. 畜産現場における女性の活躍推進事業	（一社）農山漁村女性・生活活動支援協会 （公社）中央畜産会	今後、6次産業化など多様化する畜産経営の担い手として期待される女性の能力をより発揮するために必要な環境整備やキャリアアップのための課題と対応方向等を明らかにするとともに、地域リーダーの育成やネットワーク活動を推進することにより畜産の現場での女性の活躍推進を図る事業。	151,877
4. 畜産現場における障がい者の参画推進支援事業	畜産経営支援協議会	障がい者の畜産現場への参画を支援するため、就業環境や就業条件等に関する先進事例の調査等を基に、シンポジウムの開催や手引書の作成等による情報提供により受け入れ側と就農を希望する側の理解を深めるとともに、体験就労等を通して参画のためのマッチングに取組むことにより障がい者の畜産現場への参画推進を支援する事業。	81,029
5. 乳製品の安全性・品質向上事業	（公財）日本乳業技術協会 （一社）中央酪農会議 （一財）蔵王酪農センター	生乳生産段階及び酪農家自らが製造する乳製品の安全確保のため、製造施設や製造工程における乳製品の品質確保のための検査及び技術指導等を実施し6次産業化への取組を推進するとともに、乳製品の消費拡大のために消費者への理解醸成を図る事業。	107,938
6. 新たな指標細菌による畜産物汚染検出法開発事業	国立大学法人東京大学	細菌性食中毒の発生を防止し、安全な食肉を提供するため、生産農場から小売段階までの各段階における共通した指標細菌を	30,577

		設定し、それによる汚染源及び汚染ルートの迅速な検出・同定法を開発する事業。	
7. 牛肉のおいしさ分析・評価事業	(一社) 全国肉用牛振興基金協会 (一社) 家畜改良事業団 (一社) ミート・イメージジャパン	うま味に関係する主要な成分とその機能性を解析し、うま味・香り等のおいしさに関与する成分要素の総合的評価を開発するとともに、うま味を指標化するための簡易測定手法の開発、肥育期間と肉質やうま味の相関等についての比較・調査研究を行い、肉用牛生産農家や消費者に情報提供を行う事業。	239,945
8. ICT 活用小規模繁殖管理体系実証調査事業	(公社) 畜産技術協会	和牛の小規模繁殖経営における新たな繁殖管理技術体系を構築するため、発情発見装置から得られる繁殖データ等の収集・分析と ICT(情報通信技術)を活用した繁殖管理体系の改善効果を検証する事業。	10,045
9. 酪農における子牛生産情報システム構築事業	乳用牛群検定全国協議会	搾乳牛の確保と肉用資源の拡大を図るため、性選別精液や和牛受精卵利用などの乳用牛の繁殖利用の実態を生産者に提供する子牛生産予測情報システムを構築し乳牛の合理的な子牛生産構造を形成する事業。	83,211
10. 食肉処理施設再編整備基本計画策定に係るマニュアル作成事業	(公財) 日本食肉生産技術開発センター	処理規模が小さく老朽化の進んだ食肉処理施設を HACCP やアニマルウェルフェアに対応した効率的で高度な衛生管理の施設に再編させるため、施設整備手順や費用対効果分析・財務管理まで含めた整備基本計画を作成するためのマニュアルを作成するとともに、再編整備計画に関する研修会の開催を通じて食肉流通の効率化を図る事業。	7,550
11. 生産段階における防疫体制支援強化事業	(公社) 中央畜産会 家畜衛生対策推進協議会	生産段階での伝染性疾病等の発生防止のため、農場 HACCP の認証普及や農家の防疫措置の徹底並びに地域の自衛防疫体制を強化する事業。	1,041,770
12. 生産地等における馬防疫強化対策事業	(公社) 日本軽種馬協会 (公社) 中央畜産会 (公社) 全国乗馬倶楽部振興協会	繁殖牝馬や乗用馬、農用馬の馬伝染性子宮炎や馬インフルエンザなどの伝染性疾病の発生防止や早期発見、まん延防止のため、遺伝子検査による早期診断や予防ワクチンの接種の励行、伝染性疾病の予防に関する知識を普及啓発する事業。	217,598
13. 豚流行性下痢ワクチン等開発事業	(公社) 日本動物用医薬品協会	養豚経営に甚大な影響を与える豚流行性下痢(PED)の発生防止とまん延防止のため流行株に対応したワクチン開発及び豚流行性下痢の病原ウイルスの早期検出可能な診断薬を開発する事業。	86,464
14. 豚インフルエンザワクチン株の評価系の確立事業	国立大学法人鳥取大学	豚インフルエンザの流行株に適したワクチン株の選定を迅速に行うため、国内で流行する豚インフルエンザウイルスの収集と遺伝的背景及び抗病原性を評価することにより、ワクチン株選定のための評価系を確立する事業。	117,431

15. シカ慢性消耗病の防疫・監視体制強化事業	国立大学法人北海道大学	北米で感染が拡大している鹿科動物のプリオン病であるシカ慢性消耗病の侵入を防止するため、高感度のプリオン検出技術を開発するとともに、モニタリング体制の構築とシカ慢性消耗病の啓発資料を作成する事業。	24,000
16. 難防除雑草ハルガヤの有効防除技術確立事業	国立大学法人北海道大学	最近、草地に侵入し収量や品質低下の原因となっている難防除雑草のハルガヤについて、その生態や特徴などの調査と防除技術を開発する事業。	12,000
17. 稲麦二毛作普及促進・農薬安全性調査事業	(一社) 日本草地畜産種子協会	水田を活用した飼料生産を推進するため、耕種農家が栽培可能な稲WCSと麦WCSの二毛作栽培について実証展示するとともに、早期収穫に対応した除草剤や殺菌剤の農薬残留試験を行い安全な適用農薬を明らかにする事業。	105,748
18. 孵化場経営改善推進事業	(一社) 日本種鶏孵卵協会	良質素ひなの安定供給を図るため、種鶏孵卵場の経営実態についてのアンケートや現地実態調査を実施するとともに、地域別のひなの需給予測及び生産費の算定システムを構築するほか、種鶏管理や孵卵技術等の技術研修を行い種鶏孵卵場経営の安定化を図る事業。	9,415
19. 地域における担い手育成事業	(公財) 中国四国酪農大学校 (一社) 岡山県畜産協会	自給飼料生産や農場HACCPへの取組、乳製品加工実務研修等を通じて、新たな経営感覚を有する酪農の担い手養成を促進するとともに、和牛繁殖農家への就農を進めるため、新規参入希望者を対象に繁殖経営に関する基礎知識や体験実習研修及び就農後のスキルアップのための研修を行い和牛繁殖経営への就農推進と地域リーダーを育成する事業。	7,072
20. 生物分解性巣脾の実用実証事業	(一社) 養蜂産業振興会	近年、安価で取り扱いの容易な生物分解性プラスチックを使った巣脾が開発されたことから、養蜂家において実用化に向けた実証試験を行い、この調査結果に基づき、ダニ忌避等の衛生面や廃棄処理を含めた管理コスト等についての使用管理マニュアルの作成と普及を図る事業。	3,599
21. 海外実用畜産技術等活用推進事業	(公社) 畜産技術協会	畜産経営における飼養管理の効率化や収益性の向上、環境保全対策等に関する畜産分野の実用技術及び遺伝資源情報等について、海外の状況の調査・分析を行い、畜産関係者に情報提供する事業。	10,449
22. 新技術活用効率的後代検定システム構築事業	(一社) 家畜改良事業団	乳用牛の後代検定の効率化のため、性選別精液や二層式ストローの利用、深部注入法などの高度な人工授精技術を候補種雄牛においても活用できるよう、関連技術の開発を行い調整交配の現場に普及させる事業。	30,964

23.ゲノム情報活用育種改良推進事業	(公社)農林水産・食品産業技術振興協会 (一社)家畜改良事業団	豚の筋肉内脂肪割合など肉質関連形質に関連する多型情報を選別し、形質データを保有する品種内集団においてDNA多型と肉質などの関連を解析し、豚の肉質改良に有効なDNAマーカーセットを開発・提供を行う。また、肉用牛の生産性を高めるため、産肉能力の遺伝子能力評価について実用レベルでの応用に向けた検証を行い、遺伝子能力評価と後代検定による推計育種値との比較による検証等を行うとともに産肉能力の重要形質とされる発育及び繁殖性の遺伝子能力評価を行う事業。	154,122
24.硝酸性窒素等規制強化対応高度浄化処理技術開発普及事業	(一財)畜産環境整備機構	畜産排水の硝酸性窒素等の基準の強化に対応し、一般基準に適合した処理技術の開発が求められていることから、膜処理技術を活用した低コストで効率的な排水処理技術を開発・普及する事業。	100,757
25.堆肥利用の困難な馬ふんの燃焼利用調査事業	(一財)畜産環境整備機構	堆肥利用が進まない馬ふんの燃焼利用のため、燃焼試験を行い燃焼ガスや燃焼灰の成分、発生エネルギー等について調査を行い馬ふんの燃焼利用システムを確立する事業。	52,957
26.草地飼料畑の管理実態調査事業	国立大学法人北海道大学	適切な堆肥の利用と計画的な草地更新により、温室効果ガス抑制と飼料の収量改善を図るため、草地飼料畑における堆肥・化学肥料の利用状況や草地更新の頻度・更新方法等についての実態調査を行い、堆肥利用と草地更新を促進するための基礎統計を整備する事業。	7,879
27.めん羊・山羊の多様な利活用検討事業	(公社)畜産技術協会	高い放牧適性や親しみ易さから、景観管理やふれあい効果が期待されるめん羊・山羊について、多様な場面での利活用を推進する事業。	3,775
28.機能微生物による蜜源植物増殖総合研究事業	(一社)日本養蜂協会	蜜源植物を確保するため、機能微生物を用いて、レンゲの食害抵抗性の増進やマメ科植物の害虫防除のための生物的防除法等を確立する事業。	10,267
29.牛護蹄衛生調査普及推進事業	(公社)日本装蹄協会	蹄病発生を防止して乳牛の生産能力低下を防ぎ供用期間を延長するため、統一的な蹄病発生状況調査を行うとともに、発生要因の分析や生産段階での護蹄管理推進と装蹄師の装蹄技術向上のための装蹄技術研修会等を開催する事業。	51,507
30.馬の流通に係る調教技術向上推進事業	(公社)全国乗馬倶楽部振興協会	乗用馬の生産地において高度な調教技術講習を受けた指導者による乗用馬としての馴致を行うことで付加価値を高め、市場での評価向上と乗用馬の市場流通を促進させる事業。	9,450
小計			2,871,396

(注) 上記の各事業は、(公財)全国競馬・畜産振興会を通じて実施するものである。

事業名	事業実施主体	事業内容	実績額 (千円)
畜産振興事業附帯事業	本会	学識経験者からなる審査委員会を設置し、新規事業を選定するとともに、特定法人において助成金交付業務を行う。また、学識経験者からなる評価委員会を設置し、事業評価を行う。	49,995
小計			49,995
総計			2,921,391

J R A 賞 受賞馬及び受賞者

1. 競走馬部門

	受賞馬	(馬主)	(厩舎)
年度代表馬	モーリス	吉田 和美 氏	美浦・堀 宣行 厩舎
最優秀2歳牡馬	リオンディーズ	(有)キャロットファーム	栗東・角居 勝彦 厩舎
最優秀2歳牝馬	メジャーエンブレム	(有)サンデーレーシング	美浦・田村 康仁 厩舎
最優秀3歳牡馬	ドゥラメンテ	(有)サンデーレーシング	美浦・堀 宣行 厩舎
最優秀3歳牝馬	ミッキークイーン	野田 みづき 氏	栗東・池江 泰寿 厩舎
最優秀4歳以上牡馬	ラブリーデイ	金子真人ホールディングス(株)	栗東・池江 泰寿 厩舎
最優秀4歳以上牝馬	ショウナンパンドラ	国本 哲秀 氏	栗東・高野 友和 厩舎
最優秀短距離馬	モーリス	吉田 和美 氏	美浦・堀 宣行 厩舎
最優秀ダートホース	コパノリッキー	小林 祥晃 氏	栗東・村山 明 厩舎
最優秀障害馬	アプトゥデイト	今西 和雄 氏	栗東・佐々木晶三 厩舎

2. 調教師・騎手部門

①調教師部門

最多勝利調教師	堀 宣行 (美浦)
最高勝率調教師	堀 宣行 (美浦)
最多賞金獲得調教師	池江 泰寿 (栗東)
優秀技術調教師	松永 幹夫 (栗東)

②騎手部門

最多勝利騎手	戸崎 圭太 (美浦)
最高勝率騎手	C. ルメール (栗東)
最多賞金獲得騎手	M. デムーロ (栗東)
MV J	戸崎 圭太 (美浦)
最多勝利障害騎手	五十嵐 雄祐 (美浦)
最多勝利新人騎手	鮫島 克駿 (栗東)